

## 17. ハチ目

### (1) 調査方法

調査標本の採集は、一般に各種植物の花に飛来した個体や、昆虫の排出した甘露や樹液などの各種餌に飛来したところを見つけ採りした。また、営巣場所となる枯木や薪、寺院などの古い建物の周辺で採集した。寄生バチの一部は寄主を採集して、それから羽化させた。一部の種はスイーピングしたり、黄色水盤を利用して採集した。松村雄氏が採集したハチ類標本（一部はマレーズトラップで採集した）も調査した。さらに那須野が原博物館の標本や、渡邊忠雄氏の標本及び筆者が昔採集して未発表の古い標本も調べた。

これらの標本の大半は筆者が検鏡して同定したが、ハナバチ類の一部は松村氏が同定した。しかし同定の困難な種については、次の方々にお世話になったので、ここに記して感謝申し上げる（目録の科名配列順）。

ヒラタハバチ科、ミフシハバチ科：篠原明彦氏（国立科学博物館）；ヨフシハバチ科、ハバチ科：吉田浩史氏（神戸市）；ハバチ科のシダハバチ亜科：内藤親彦氏（神戸大学農学部）；ヒメバチ科：渡辺恭平氏（東京農業大学）；コバチ類：上條一昭氏（北海道美唄市）；アリガタバチ科：寺山守氏（東京大学）；セイボウ科、コツチバチ科、クモバチ科、アナバチ類、ヒメハナバチ科及びコハナバチ科の一部：羽田義任氏（福井県大野市）；ツチバチ科：吉田睦浩氏（中央農業研究センター）；アリ科：園部力雄氏（宇都宮市）；コハナバチ科の一部：村尾竜起氏（福岡市）

科名、種名及びそれらの配列順などは、原則として平嶋（1989）に準じたが、その後の変更などは山根ら（1999）及び寺山（2004）に従った。ヒメバチ科については小西（2009）の体系を採用した。またクモバチ科（ベッコウバチ科）の種名や和名については、清水（2008）に従った。

ここにとりあげた種は、すべて種名まで同定できたものとし、属名までしか同定できなかった多くの種は除外した。

### (2) ハチ目の生息状況

表VII-17-(2)-1 に地域別、科別の種類数を示した。今回の調査で確認されたハチ目の総種数は、アリ科を含めて39科670種に達した。このうち文献に記録されているが、今回の調査で標本を確認できなかった種は21種で、それ以外の649種では直接標本を確認することができた。この数値は黒磯地区の詳細な調査結果（片山，2004；2005a；2006；2007）及び大田原市での詳しい調査結果（片山，2005b）を上まわり、県内他市町での同様な調査の中では最も精度の高い調査結果である。また、このことは当地区にはハチ目の生息に適した自然環境が残されていることを示している。

【表Ⅶ-17-(2)-1 ハチ目の科別・地域別種数一覧】

No	科名	総種数	A地域	B地域	C地域	山岳地域
1	ヒラタハバチ科	11	2	1	6	7
2	ヨフシハバチ科	3	2		1	
3	ミフシハバチ科	8	3	5	7	5
4	コンボウハバチ科	8		1	1	7
5	ハバチ科	123	39	19	58	100
6	キバチ科	2	1		1	2
7	クビナガキバチ科	1		1		
8	クキバチ科	2	1	1	1	
9	コマユバチ科	7	1	1	3	4
10	ヒメバチ科	93	17	20	44	63
11	カギバラバチ科	3			2	3
12	ヤセバチ科	1	1	1		
13	セダカヤセバチ科	1			1	1
14	コンボウヤセバチ科	2			1	2
15	シリアゲコバチ科	2	1			1
16	アシプトコバチ科	5	3	2	2	1
17	カタビロコバチ科	1		1		
18	オナガコバチ科	3	2	2		1
19	コガネコバチ科	1				1
20	アリガタバチ科	4	2	1	2	
21	セイボウ科	9	1	2	1	5
22	アリバチ科	5	2	2	3	2
23	コツチバチ科	12	6	3	6	7
24	ツチバチ科	8	6	5	5	5
25	アリ科	49	27	20	26	27
26	クモバチ科	31	13	7	18	19
27	ドロバチ科	20	12	9	14	13
28	スズメバチ科	18	10	9	11	16
29	アナバチ科	8	5	4	6	4
30	アリマキバチ科	23	5	2	11	18
31	ギングチバチ科	38	11	10	25	25
32	ハエトリバチ科	1			1	1
33	ドロバチモドキ科	9	3	1	4	8
34	フシダカバチ科	5	4	2	2	3
35	ムカシハナバチ科	9	3	4	7	7
36	ヒメハナバチ科	39	17	17	23	32
37	コハナバチ科	47	21	17	36	37
38	ハキリバチ科	16	7	11	12	15
39	ミツバチ科	42	19	21	29	26
計	39科	670種	247種	202種	370種	468種

地域別の種類数は表Ⅶ-17-(2)-1のように、平地であるA地域とB地域はそれぞれ247種と202種であった。これに対して、丘陵地や山地であるC地域と山岳地域では、370種と468種で、A、

B地域よりもはるかに多かった。このことは平地よりも丘陵地や山地では、多くの種のハチ目が生息していることを示している。特にこの傾向が強いのは、ヒラタハバチ科、コンボウハバチ科及びハバチ科などのハバチ類である。コマユバチ科、ヒメバチ科及びカギバラバチ科などの寄生バチ類でも、丘陵地や山地には多くの種が生息していた。また、アリマキバチ科、ギングチバチ科及びドロバチモドキ科などのアナバチ類も、丘陵地や山地には平地より多くの種が生息していた。ムカシハナバチ科、ヒメハナバチ科、コハナバチ科、ハキリバチ科及びミツバチ科などのハナバチ類でも、同様の傾向がみられた。

これに対して、コツチバチ科、ツチバチ科、アリ科、クモバチ科、ドロバチ科及びスズメバチ科などのグループ（スズメバチ上科）では、地域による種類数の差が少なかった。このことはスズメバチ上科では、多くの種が平地から山地まで、広い地域に生息していることを示している。

### (3) 保全すべき種

#### ①キイロモモフトハバチ（コンボウハバチ科） 環境省：一、栃木県：絶滅危惧Ⅱ類

体長 25mm 前後の大型のハバチである。頭部と胸部は黒褐色で、腹部は黄褐色で基部 2 節は黒褐色である。幼虫はハンノキ類の葉を食べ、成虫は 6～7 月に出現する。

全国的に個体数の少ない種で、東京、長野、静岡、京都、兵庫、岡山、高知及び九州の各地から散発的に発見されている。県内では旧栗山村、旧日光市、旧塩原町などで、わずかな採集記録がある（福田，1968）。今回は塩原上の原で 6 月下旬にメス 1 個体が採集された。旧塩原町の古い記録では、1962 年 8 月 5 日に塩原町新湯でメス 1 個体が採集された（福田，1968）。

分布が局地的で個体数が少なく、極めて稀にしか発見されない。また、幼虫の食樹であるハンノキが生育する湿地性の山林の伐採や減少により、生存が脅かされているため、保全種に選定した。

#### ②ウマノオバチ（コマユバチ科） 環境省：準絶滅危惧、栃木県：準絶滅危惧

体長は 20mm 前後だが、メスには体長の 7～9 倍もある 15cm 前後の極めて長い産卵管がある。体はほぼ赤褐色で翅は黄褐色を帯び、数個の黒褐色の斑紋がある。このように極めて目立つ形態のため、発生が少ないにもかかわらず発見されやすい。

成虫は 5～6 月に発生し、クリ、コナラ、クヌギなどの雑木林で見られる。長い産卵管を使ってクリ、コナラなどの樹幹中のシロスジカミキリ幼虫に産卵する。

本州、四国、九州、朝鮮半島、中国、台湾からラオス、タイ、インドなどに分布している。栃木県内では宇都宮市、鹿沼市、真岡市、都賀町など広く点在的に記録されている。今回の調査では、2006 年 5 月に西那須野井口の雑木林で、渡辺 剛氏がメス 2 個体を発見した。

寄主となるシロスジカミキリの生息に適した樹木が生育している里山の減少により、各地とも本種の発生は減少している。本種は里山の良好な自然環境を示す指標種のひとつとして重要である。

#### ③エゾアカヤマアリ（アリ科） 環境省：一、栃木県：準絶滅危惧

働きアリの体長は 4.5～7mm で、頭部と胸部、脚などは黄赤褐色で、腹部は黒褐色であるが、基部は赤みを帯びる。マツの落ち葉や細かい枯草を集めて、地表に大きなアリ塚をつくる習性がある。

北海道中部から本州中部の山岳地帯に分布し、場所によってはかなり多く見られる。しかし県内ではきわめて少なく、旧塩原町と旧日光市だけで確認されている（園部，2003）。今回は八方ヶ原の矢板市と那須塩原市との境界地点で採集された。文献記録では、1978 年 7 月 25 日に旧塩原町上塩原で採集されている（園部，2003）。

栃木県では分布が極めて局地的で、コロニー（巣）の数も少ない。また、生息に適した山地帯の林縁部やマツ、カラマツなどがまばらに生えた林地が山林荒廃により、雑草ややぶに被われてしまった。このためアリ塚をつくるのに適した林地がなくなり、発生が減少している。

#### ④ニッポンホオナガスズメバチ（スズメバチ科） 環境省：一、栃木県：要注目

体長は女王で16～18mm、働きバチは11～14mm、オスでは13～17mmである。体色は女王、働きバチ、オスとも同じで、光沢のある黒色で頭部、胸部、腹部に白色の斑紋や横帯がある。クロスズメバチ類によく似るが、頭部の下側部が長いので区別できる。

アシナガバチやスズメバチと同様に社会性で、1年性のコロニーをつくる。5月～9月に活動し、林地及びその周辺に生息し、木の枝や建物の軒下などに営巣する。生きた昆虫類やクモ類などを餌にして生活する。

北海道では各地に広く分布するが、本州では福島、栃木、埼玉、長野などで記録されている。栃木県では旧黒磯市の深山ダム周辺だけで、発生が確認されている（片山，2005a）。今回はハンターマウンテンスキー場で、人工降雪機のエンジンルームに営巣しているのが確認された。また、塩原塩那スカイラインの土平地区で、働きバチ1個体が採集された。

分布が局地的で限られた地域にしか生息していない。個体数も極めて少ない。また、栃木県での発生生態や分布状況が未解明なので、今後注意して保全する必要がある。

#### ⑤チャイロスズメバチ（スズメバチ科） 環境省：一、栃木県：準絶滅危惧

体長は女王で30mm前後、働きバチは17～24mm、オスでは26mm前後の中型のスズメバチである。腹部に黄色の斑紋や横帯がなく、一様に黒褐色なので、他種とは一見して区別できる。

前種と同様に社会性で1年性のコロニーをつくるが、営巣開始期には他のスズメバチの巣に寄生する。女王はモンスズメバチやキイロスズメバチの巣に侵入して、寄主の女王を殺し、巣を乗っ取る。そして自分の働きバチを寄主に育てさせる。羽化した働きバチはすべての営巣活動を行ない、やがて完全なチャイロスズメバチだけのコロニーになる。このように寄主への依存は営巣開始期だけであるが、本種の女王は造巣能力をもたない「絶対的一時寄生者」と見なされている（松浦，1995）。

他のスズメバチと同様に雑食性で植物の花蜜、樹液、各種昆虫類やクモなど生きた餌や死んだ動物の肉片などを餌として生活する。主に山地の林内や林縁部に生息し、樹洞や地下の空所、建造物の壁内などに営巣する。

北海道から本州中部まで分布するが、生息地は限られ個体数も少ない。県内では旧栗山村の山地で稀に発見されていた。しかし2005年に平地の真岡市下籠谷町で採集され（宮本，2005）、2008年には益子町で営巣が確認されたという情報がある。また、2009年に那須塩原市の鍋掛地区（寺子）でも採集されたという情報がある。今回の調査では2008年に塩原甘湯で働きバチが1個体採集された。さらに2009年にも塩原温泉ビジターセンター付近で、働きバチ1個体が得られた。

社会寄生性という特殊な生態をもつため、生存するには寄主となる他のスズメバチとの微妙なバランスを維持する必要がある。しかも限られた地域にわずかに発見されるだけなので、生息環境の保全が必要である。

#### ⑥ニトベギングチ（ギングチバチ科） 環境省：情報不足、栃木県：一

大型のギングチバチで、メスの体長は18mm前後に達する。腹部第1～3節（または第4節まで）の後縁に茶色の帯があり、一見するとキボシアシナガバチに似ている。

成虫は7月から9月下旬に出現し、枯れ木やノブドウなどの花に飛来する。トチやブナなどの立枯木に営巣し、幼虫の餌としてヤガ類の成虫を狩ることが知られている。

東北地方から中部地方の山地に生息し、青森、新潟、群馬、茨城、石川、福井、三重、兵庫及び広島県などから記録されている。しかし各地とも極めてわずかに採集されているだけである。関東地方では北関東の群馬県と茨城県から記録されているが、栃木県では長年調査を続けても採集されなかった。今回塩原古町でオス1個体を採集したことで、関東地方での分布の空白を埋めることができた。

主に山地のトチやブナなどの立枯木がある広葉樹林に生息する。しかしスギの植林によって広葉樹の自然林が減少したため、生存が脅かされている。

**⑦コイケアワフキバチ（ドロバチモドキ科） 環境省：一、栃木県：準絶滅危惧**

体長はメスで10～11mm、オスは8～10mmである。体は黒色で全体に黄褐色の毛が多く、特に腹部後方で毛が目立つ。腹部第2節は第1節に比べて急に膨大し、第2節の後縁部には幅広い橙黄色の帯がある。

主に山地の林縁部に生息し、成虫は8月～9月頃に出現すると思われる。詳しい生態は解明されていないが、近縁種の生態から幼虫の餌としてアワフキムシ類の幼虫または成虫を狩り、砂の多い地中に穴を掘って営巣すると思われる。

本州、九州、朝鮮半島、中国に分布している。国内の分布は局地的で、各地とも発生は少ない。栃木県では2003年に初めて旧藤原町で1個体が採集され（村上，2004）、旧黒磯市からも記録された（片山，2006）。今回の調査では2007年に塩原甘湯でメス1個体が採集された。

発生は極めて局地的で個体数も少ない。生息地である山地の森林開発や広葉樹林の減少、森林荒廃などによって、生息地が狭められる可能性が大きい。

**⑧トモンハナバチ（ハキリバチ科） 環境省：一、栃木県：絶滅危惧Ⅱ類**

体長はメスで14mm、オスは18mm前後である。体は黒色でメスの腹部第1～5節（オスでは第6節まで）に各1対の明瞭な黄色紋をもつ。オスの腹部第5,6節背板の後側角には各1対の突起があり、第7節の後側角はさらに長くトゲ状に突出し、中央に短い歯状の突起がある。

成虫は7月下旬～9月に出現し、塩原地区では8月にエゾミソハギに多く訪花するが、ヤマハギやオオハンゴンソウでの訪花も見られた。枯木に甲虫があけた孔や各種建造物の木材のすき間や孔に営巣し、巣づくりの材料にヨモギの葉の綿毛を用いる。

ヨーロッパからシベリア、ウスリー、中国、朝鮮半島、日本まで広く分布している。国内では青森県から岡山県までの本州各地で、局所的に発見されている（松村，2008）。関東地方では山梨県、長野県の山間部で比較的普通に見られるが、その他の県では稀である。栃木県内では塩原地区だけで生息が確認されていたが（中村 2003）、2005年に鹿沼市でオス1個体が採集され（葛谷，2005）、2008年には足利市でもオス1個体が採集された（中村，2008）。塩原地区では上塩原の宮島地区で、営巣場所が確認された。さらに古町や逆杉から500mほど離れた日塩道路沿いの地点及び新湯などでも散発的に発見されている。

宮島地区の営巣場所である古い建物は、国道400号バイパス工事のため取り壊されることになった。そのため2007年12月に松村雄氏らの努力で、営巣場所として利用されている庇屋根の一部を切り取り、旧上塩原小学校（現宿泊体験館メイプル）の校庭に移された（松村，2008）。2008年の夏には移転された新しい巣場所の周辺で、成虫の訪花活動が見られ、移転は成功したと考えられている。

**(4) 注目すべき種**

**①ダイセンクロヒラタハバチ（ヒラタハバチ科） 環境省：一、栃木県：一**

体長はメスで10～11mmで、体は黒色で後頭部や胸部背面などにわずかに白黄色の斑紋がある。幼虫の食餌植物や生態は不明である。

極めて稀な種で、青森、宮城、栃木、埼玉、長野、鳥取県及び朝鮮半島などから、わずかに採集されている。栃木県内では日光市湯元で、オス1個体が記録されている（中村，2003）。今回は塩原の箱の森公園で、メス1個体が採集された。

**②ハクサンクキバチ（クキバチ科） 環境省：一、栃木県：一**

体長はメスで9～11mm、オスは9～10mmである。メスは全身黒色であるが、オスは腹部先端の2～3節が黄褐色である。翅は透明でモンクキバチのような斑紋はない。本種の食草は多分ユキヤナギであろうと考えられている。

全国的に稀な種で、北海道、青森県、山形県、東京都、山梨県及び石川県などから記録されている(片山, 2008)。今回の調査では、烏ヶ森公園と那須野が原公園で発生が確認された。

**③ヤドリクモバチ (クモバチ科) 環境省：－、栃木県：－**

体長は8～15mmで、他のクモバチが黒色なのに、本種では全身が黄褐色である。腹部は縦に扁平で全身がほっそりしているのので、一見するとヒメバチのように見える。本種は労働寄生性で、自分では巣をつくらない。他のクモバチが幼虫の餌であるクモを運搬中に、そのクモに産卵し、寄主の巣の中で成長する。日本ではキバネトゲアシクモバチなどに寄生する(Shimizu & Wahis, 2007)。

本州、四国、九州、台湾、朝鮮半島及び中国に分布している。国内では各地とも稀で、個体数は極めて少ない。栃木県内では塩谷町でメスがわずかに1個体記録されている(中村, 2003)。今回は金沢、藁沼、塩原古町、甘湯など比較的多くの地点で発生が確認された。

**④ヒメホソアシナガバチ (スズメバチ科) 環境省：－、栃木県：要注目**

体長は13～16mmで、近縁種のムモンホソアシナガバチよりもやや小型である。体は黄色で胸部や腹部には暗褐色の斑紋がある。本種の顔面(頭楯)には暗褐色の縦に細長い斑紋があるので、ムモンホソアシナガバチと区別できる。

他のアシナガバチと同様に社会性で、1年性のコロニーをつくる。5月～9月に活動し、平地から低山地に生息する。巣は灰白色の薄い和紙状で、木の葉の裏、細い枝や建物の壁などに造られる。本種の巣は細長く下垂するが、ムモンホソアシナガバチでは木の葉の裏などに円盤状の巣をつくるので、巣の形で区別できる。

本州(青森以南)、四国、九州、台湾、東南アジア、インドまで広く分布する。国内ではムモンホソアシナガバチに比べて各地とも発生は少ない。栃木県内での分布状況はまだ詳しく解明されていない。今回の調査では、西那須野二区町、乃木神社、烏ヶ森公園、金沢、元湯などで発生が確認された。

**⑤アルマンアナバチ (アナバチ科) 環境省：－、栃木県：地域個体群※**

体長はメスで20～25mm、オスは17～20mmである。全体黒色でメスの後脚は黄赤褐色であるが、オスの後脚はメスよりも黒みを帯びる。7月～8月に活動し、竹筒や枯木のカミキリムシ脱出孔などに、コケをつめて巣をつくる。幼虫の餌としてササキリ類やツコムシ類などバツタ目の幼虫を蓄える。

本州、四国、九州、朝鮮半島に分布する。県内では一般に県北西部の山間地で発生が見られるが、平地の宇都宮市でも稀に採集されている。今回は金沢、藁沼、塩原古町、甘湯、上塩原などで、比較的普通に見られた。

※県レッドデータ上は、「宇都宮市戸祭山のアルマンアナバチ」として掲載されている。

**⑥ミカドジガバチ (アナバチ科) 環境省：－、栃木県：準絶滅危惧**

体長25～34mmの大型のジガバチで、体は黒色で腹部第1節の両側と第2節は赤褐色である。各地で普通に見られるサトジガバチやヤマジガバチは地中に孔を掘って営巣するが、本種は樹木の空洞や朽木の孔などに土粒や砂粒、木片などを運んで巣をつくる。幼虫の餌として、シャチホコガなどのチョウ目の幼虫を捕えて巣に蓄える。

本州、四国、九州、台湾、東南アジアに分布する。県内では平地の各地で点在的に発生が確認されているが、いずれの生息地でも個体数は少ない。今回の調査では、常盤ヶ丘と烏ヶ森公園で採集された。

**⑦オオドロバチモドキ (ドロバチモドキ科) 環境省：－、栃木県：－**

体長は10～11mmで、体は黒色で前胸部と腹部に黄色の斑紋や横帯がある。成虫は5～6月ごろ発

生するが、詳しい生態は不明である。多分アワフキバチ類に労働寄生するのであろうと考えられている。

北海道、本州、九州、ウスリー地方に分布している。国内での発生は各地とも散発的で少ない。栃木県では極めて稀な種で、日光市花石（中村，2003）と旧黒磯市三斗小屋宿跡（片山，2006）から記録されているだけである。今回は乃木神社、関谷リッチランド、塩原ウトウ沢で発生が確認された。県内ではこれまで山間地で採集されていたが、今回初めて平地でも確認された点で、貴重な記録である。

**⑧ミカドヒメハナバチ（ヒメハナバチ科） 環境省：一、栃木県：準絶滅危惧**

体長はメスで13~15mm、オスは10~12mmである。メスは全身が褐色、赤褐色、黒色など変化に富む色彩の長毛で被われ、一見するとマルハナバチのように見える。オスは細身で全身灰白色毛に被われ、普通のヒメハナバチのように見える。

4月~6月に活動し、山地のアセビ、ヤシオツツジ、ミツバツツジなどの花を訪れる。県内では平地での記録はなく、山地に限られている。

本州、四国、九州、朝鮮半島に分布している。栃木県では足尾、鹿沼、日光、今市、宇都宮、栗山、黒磯、那須など県の西部から北部にかけての山地で見られる。大型でよく目立ち、山地の良好な自然環境を示す指標種として重要である。

**⑨ヤマトハキリバチ（ハキリバチ科） 環境省：一、栃木県：一**

メスの体長は12mm前後で、体は黒色で灰白色の長毛で被われている。5~6月に出現し、フジの花などに飛来する。小石混じりの砂地に巣をつくるので、河川改修や土地開発による営巣適地の減少のため、最近各地で発生が減少している。

北海道、本州、四国、九州に分布する日本固有種である。栃木県では極めて稀な種で、旧栗山村、大田原市、旧黒磯市から記録されている（片山，2007）。今回は35年前に塩原甘湯で採集された古い標本しか確認できなかったため、貴重な種であるが保全種にできなかった。

**⑩マイマイツツハナバチ（ハキリバチ科） 環境省：一、栃木県：絶滅危惧Ⅰ類**

体長はメスで11mm前後、オスは10mm前後である。体は鈍い金属性光沢のある青色で、灰白色毛に被われている。平地から山地に生息し、春季に出現してレンゲなどを訪花する。本種はカタツムリの空き殻に木の葉をかみ砕いた練り物を用いて巣をつくるという特異な習性をもっている。

本州、四国、九州に分布する日本固有種である。暖地性の種で西日本では比較的普通に見られるが、栃木県では少ない。古い記録では、1948、1949年に那須町伊王野、大田原市、旧塩原町古町で採集されている（薄葉，1949，1951）。最近では旧栗山村、宇都宮市などでわずかに発見されている。今回の調査では、1965年に塩原大沼で採集されたメス1個体の標本しか確認できなかった。県の絶滅危惧種に指定されているが、現時点での生存が確認できなかったため、保全種にできなかった。今後とも調査を継続して、生存の可否を確かめる必要がある。

**⑪スジボソコシブトハナバチ（ミツバチ科） 環境省：一、栃木県：要注目**

体長はメスで14~15mm、オスは12~13mmである。やや大型でずんぐりしたハナバチである。体は黒色で胸部と腹部第1節には茶褐色の短毛が密生している。腹部の各節後縁には灰白色毛が密生して、白い帯のように見える。

8~9月に出現し、長い口吻を伸ばしてホバリングしながら、ギボウシ、ツリフネソウ、ハウセンカなどの筒状花を訪れる。本種は飛翔時に鋭く甲高い翅音を出してホバリングするので、トラマルハナバチなど類似種と区別できる。

本州、四国、九州、朝鮮半島、中国に分布している。県内では各地に点在的に生息しているが、いずれの生息地でも個体数は少ない。今回は金沢でメス1個体が採集された。本種は里山の良好な

自然環境を示す指標種である。

## (5) 保全すべき地域

### ①蛇尾川、箒川に挟まれた那須野が原の平地林地域

井口から赤田、千本松にかけての地域及びそれよりも北側の広い平地林地域には、各種落葉広葉樹とアカマツなどが混生する多くの雑木林がある。このような雑木林は平地性のハバチ類（約70種）、カリバチ類（約90種）及びハナバチ類（約100種）の生息地になっている。またこれらのハチに寄生する各種寄生バチも生息している。

この地域には保全種のウマノオバチや注目種のハクサンクキバチ、ヒメホソアシナガバチ、アルマンアナバチ、スジボソコシブトハナバチなどが生息している。多分、ミカドジガバチも生息しているであろう。

この地域は今後も引き続き開発が進む可能性が大きい。また、全般にスギやヒノキなどの針葉樹の植林によって、雑木林が減少してしまった。さらに薪炭木としての利用がなくなり、雑木林の荒廃が進んでいる。

### ②宇都野、金沢、関谷などの丘陵地の里山地域

これらの農耕地と山地の接する地域には、里山的な自然環境が点在している。そのためこのような環境を好むハナバチ類やカリバチ類が多く見られる。特に金沢、遅野沢、墓沼などの地区では、多くのハチ類が記録されている。

しかしスギなどの植林による雑木林の減少や、過疎化による荒廃などで、ハチ類の生息に適した環境は次第に減少している。

### ③大沼から富士山、新湯にかけての湿地と落葉広葉樹林地帯

大沼、ヨシ沼その他の小さい池などの湿地が点在し、その周囲はミズナラ、トチ、ブナ、カエデ類など各種の落葉広葉樹の原生林におおわれている。そのため県内有数のハチ目の宝庫である。特に山地性の稀少なハバチ類の多くの種が生息する。またハナバチ類やカリバチ類も豊富である。各種の広葉樹や多様な草本類は、多くのハバチ類の食草となり、ハナバチ類の訪花植物になっている。さらに広葉樹林に点在する立枯木は多くのカリバチやハナバチの営巣場所となっている。

現在は国立公園として保護されていて、開発の恐れはないが、県内有数の昆虫の宝庫であるこの自然環境を次の世代へ保存してゆく必要がある。

### ④上の原、新湯、上塩原などの開拓地

これら山地の開拓地では山林の中に陽の当たる草地や人家、物置小屋などが点在し、多くのハナバチ類やカリバチ類の好適な生息場所となっている。

農薬や肥料などによる汚染や土砂流出など、環境への影響がないよう注意が必要である。また、これ以上周辺環境への人為的負荷を与えないよう、現状での環境維持を図るべきである。

## (6) 保全への提言

### ①平地林の保全

平地性のハバチ類、カリバチ類、ハナバチ類の多くの種は平地の森林環境に生息している。しかし現在これらの平地林ではスギ、ヒノキなど針葉樹の植林により、落葉広葉樹の雑木林が大幅に減少した。そのため平地性の多くのハチ種が減少している。

ハチ目の生息環境を保全するために、スギ、ヒノキなどの植林地では、適度の間伐を行ない、下草や小灌木が生育できるようにする。また、雑木林は薪炭木の利用がなくなり、荒廃している。ササなどの雑草の下刈りや計画的な伐採により、雑木林の再生を図ることが必要である。



## ②古い神社仏閣と寺社林の保全

古い神社仏閣の木造建造物には、各種のアナバチ類、ドロバチ類、ハナバチ類が営巣している。しかしこれらの建造物は近年金属、プラスチック、コンクリート、石材などの建材で被われたり、建て替えられたりして、古い木造建築物は減少している。

ハチ類の保全のためには、できるだけ木材を使用して補修や再建をすべきである。また建物周辺の寺社林は、これらハチ類の狩りの場になっているので、あわせて保全してゆく必要がある。

## ③公園や緑地の整備と管理

市街地周辺の公園や緑地は、多くのハチ類の生息場所になっている。しかし公園の整備のために、きれいに整地して芝生や舗装をしたり、観賞植物の花壇が作られている。そのため昔からそこに生育していた雑草や雑木林がなくなり、ハチ類の生息場所が狭められている。また草刈、害虫防除、落ち葉さらいなどの管理作業もあまりにも画一的に行われている。

ハチ類の生息のためには、昔から生えている雑草や雑木林の自然環境を維持している区画を設けるべきである。その区画では雑草、落ち葉、倒木などもなるべくそのまま残し、自然条件に近い状態で管理すべきである。

## ④ハチ目の生態、分布などの解明

山地性のハバチ類や寄生バチ類などでは、今回の調査でわずかに1個体または2,3個体しか採集されなかった種が多い。これらは県のハチ目リスト（中村, 2003）でも1,2個体しか記録がなかったり、今回が初記録となる種も多く含まれている。これらの種が栃木県として稀少種であるかどうかは、県内全域の詳しい分布状況が解明されなければ決定できない。またこれらの種を保全するためには、それぞれの種についての生態調査が不可欠である。

(文責：片山 栄助)

【目録】

※科の分類、科・種の配列、和名・学名に関しては、原則、平嶋（1989）に準じ、その後の変更点等に関しては、山根ら（1999）及び寺山（2004）に準じた。ただし、ヒメバチ科に関しては、小西（2009）の体系に準じ、クモバチ科の和名・学名に関しては、清水（2008）に準じた。

※ハナバチ類のうち、松村雄氏が採取、同定した種には、和名に\*印を付けた。

科名	和名	学名	A 地域	B 地域	C 地域	山岳 地域
ハチ目						
ヒラタハバチ科	ニホンカラマツヒラタハバチ	<i>Cephalcia lariciphila japonica</i> Shinohara				○
	ワモンヒラタハバチ	<i>Onycholyda decorata</i> Shinohara				○
	ツヤヒラタハバチ	<i>Onycholyda lucida</i> (Rohwer)	○	○	○	○
	コモンヒラタハバチ	<i>Onycholyda minomalis</i> (Takeuchi)			○	
	アオスネヒラタハバチ	<i>Onycholyda viriditibialis</i> (Takeuchi)	○		○	○
	ハシバミヒラタハバチ	<i>Pamphilius benesi</i> Shinohara				○
	ダイセンクロヒラタハバチ	<i>Pamphilius daisenus</i> Takeuchi				○
	キムネヒラタハバチ	<i>Pamphilius flavipectus</i> Shinohara				○
	ハンノハラアカヒラタハバチ	<i>Pamphilius itoi</i> Shinohara			○	
	イセヒラタハバチ	<i>Pamphilius komonensis</i> Takeuchi			○	
	シマヒラタハバチ	<i>Pamphilius volatilis</i> (Smith)			○	
ヨフシハバチ科	ヨフシハバチ	<i>Blasticotoma filiceti pacifica</i> Malaise	○			
	キアシヨフシハバチ (和名なし)	<i>Runaria flavipes</i> Takeuchi <i>Runaria reducta</i> Malaise	○		○	
			○			
ミフシハバチ科	シリグロチュウレンジ	<i>Arge indicura</i> Shinohara et Hara			○	
	ウンモンチュウレンジ	<i>Arge jonasi</i> (Kirby)			○	
	アカスジチュウレンジ	<i>Arge nigrinodosa</i> (Motschulsky)		○	○	○
	ニホンチュウレンジ	<i>Arge nipponensis</i> Rohwer	○	○	○	○
	チュウレンジバチ	<i>Arge pagana</i> Panzer		○	○	○
	カタアカチュウレンジ	<i>Arge rejecta</i> (Kirby)	○	○	○	○
	ルリチュウレンジ (和名なし)	<i>Arge similis</i> (Vollenhoven) <i>Arge suzukii</i> (Matsumura)	○	○		○
					○	
コンボウハバチ科	ホシアシブトハバチ	<i>Agenocimbex jucunda</i> Mocsary		○		

科名	和名	学名	A 地域	B 地域	C 地域	山岳 地域
(コンボウハバチ科)	キイロモモブトハバチ	<i>Cimbex connatus taukushi</i> Marlatt				○
	ヨウロウヒラクチハバチ	<i>Leptocimbex yorofui</i> (Marlatt)			○	○
	ルリコンボウハバチ	<i>Orientabia japonica</i> (Cameron)				○
	オオルリコンボウハバチ	<i>Orientabia relativa</i> (Rohwer)				○
	シマコンボウハバチ	<i>Praia ussuriensis</i> Malaise				□*1
	アケビコンボウハバチ	<i>Zaraea akebi</i> Takeuchi				○
	アオコンボウハバチ (ヒメコンボウハバチ)	<i>Zaraea lewisii</i> (Cameron)				○
ハバチ科	(和名なし)	<i>Abusarbia japonica</i> (Malaise)				○
	メスグロシダハバチ	<i>Alphastromboceros konowi</i> (Jakovrev)				○
	キバラワラビハバチ	<i>Aneugmenus japonicus</i> Rohwer			○	
	ワラビハバチ	<i>Aneugmenus kiotonis</i> Takeuchi	○	○	○	○
	オカトラノオハバチ	<i>Birka carinifrons</i> (Malaise)	○			○
	(和名なし)	<i>Busarbidea japonica</i> (Takeuchi)			○	
	オオムネアカハバチ	<i>Dolerus ephippiatus</i> Smith			○	○
	ナガスギナハバチ	<i>Dolerus gessneri</i> Andre			○	○
	ムギハバチ	<i>Dolerus lewisii</i> Cameron			○	○
	オスグロハバチ	<i>Dolerus similes japonicus</i> Kirby	○		○	○
	スギナハバチ	<i>Dolerus subfasciatus</i> Smith	○		○	○
	アカナナフシハバチ	<i>Heptamelus ochroleucus</i> (Stephens)	○			
	(和名なし)	<i>Heptamelus takeuchii</i> Togashi		○		
	ヒメムネアカハバチ	<i>Loderus evermanni obscurus</i> (Marlatt)	○		○	○
	(和名なし)	<i>Loderus flavopictus</i> (Matsumura)				○
	カタアカスギナハバチ	<i>Loderus genucinctus</i> <i>insulicola</i> (Rohwer)	○	○	○	○
	(和名なし)	<i>Neostromboceros gracilis</i> Takeuchi				○
	イノデハバチ	<i>Neostromboceros nipponicus</i> Takeuchi				○

科名	和名	学名	A 地域	B 地域	C 地域	山岳 地域
(ハバチ科)	(和名なし)	<i>Neostromboceros yakushimensis</i> Takeuchi	○	○	○	
	モリオコハバチ	<i>Nesoselandria morio</i> (Fabricius)			○	
	ケーブルハバチ	<i>Stromboceros koebelei</i> Rohwer	○		○	○
	クサソテツハバチ	<i>Strongylogaster empriaeformis</i> Malaise	○	○		
	マダラシダハバチ	<i>Strongylogaster macula</i> (Klug)	○			
	モイワハバチ	<i>Strongylogaster moiwana</i> Matsumura			○	
	ナガラビハバチ	<i>Strongylogaster multifasciata</i> (Geoffroy)	○		○	○
	イヌワラビハバチ	<i>Thrinax athyrii</i> (Naito)	○	○		○
	ヒメクサソテツハバチ	<i>Thrinax contigua</i> Konow			○	○
	ニホントガリシダハバチ	<i>Thrinax japonicus</i> (Rohwer)				○
	シケシダトガリハバチ	<i>Thrinax minomensis</i> (Takeuchi)				○
	クシヒゲハバチ	<i>Cladius pectinicornis</i> (Geoffroy)	○			○
	ハネビロハバチ	<i>Mesoneura macroptera</i> Takeuchi				○
	シモツケマルハバチ	<i>Apareophora japonica</i> Takeuchi			○	○
	ムモンムネアカハバチ	<i>Eutomostethus hyalinus</i> Takeuchi		○		○
	(和名なし)	<i>Eutomostethus lubricus</i> Seiyama			○	○
	ヒゲブトマルハバチ	<i>Megatomostethus crassicornis</i> (Rohwer)	○		○	○
	ルイスアカマルハバチ	<i>Nesotomostethus lewisii</i> (Kirby)				○
	クロバアカマルハバチ	<i>Nesotomostethus religiosa</i> (Marlatt)			○	○
	ムネアカキアシハバチ	<i>Paracharactus leucopodus</i> Rohwer	○			
	(和名なし)	<i>Periclista nigrifrons</i> Togashi		○		
	ヒゲナガクロハバチ	<i>Phymatocera nipponica</i> Togashi	○	○		○
	カラフトホソハバチ	<i>Allantus calliblepharus</i> (Konow)				○

科名	和名	学名	A 地域	B 地域	C 地域	山岳 地域
(ハバチ科)	ハグロハバチ	<i>Allantus luctifer</i> (Smith)	○		○	○
	オオシロオビハバチ	<i>Allantus meridionalis</i> Takeuchi				○
	サクラセグロハバチ	<i>Allantus nakabusensis</i> Takeuchi		○		
	タデハバチ	<i>Allantus nigrocaeruleus</i> (Smith)	○		○	○
	イタドリクロハバチ	<i>Ametastegia poligoni</i> Takeuchi	○			
	ウツギハバチ	<i>Asiemphytus deutziae</i> (Takeuchi)			○	○
	ウスオビハバチ	<i>Asiemphytus fasciatus</i> (Takeuchi)			○	○
	ツノジロホソハバチ	<i>Asiemphytus vexator</i> (Smith)			○	○
	セグロカブラハバチ	<i>Athalia infumata</i> (Marlatt)	○	○	○	○
	ニホンカブラハバチ	<i>Athalia japonica</i> (Klug)	○	○	○	○
	イヌノフグリハバチ	<i>Athalia kashimirensis</i> Benson	○		○	
	カブラハバチ	<i>Athalia rosae ruficornis</i> Jakovlev	○		○	○
	アメイロハバチモドキ	<i>Beleses satonis</i> (Takeuchi)				○
	シロアシマルハバチ	<i>Eriocampa albipes</i> Matsumura			○	○
	ショウマハバチ	<i>Eriocampopsis subtruncata</i> Takeuchi				○
	アカネハバチ	<i>Hemibeleses nigriceps</i> Takeuchi	○		○	
	タケウチクロハバチ	<i>Taxonus agrorum</i> (Fallen)	○		○	○
	アキツマジロハバチ	<i>Taxonus autumnalis</i> (Takeuchi)				○
	ツノキクロハバチ	<i>Taxonus fulvicornis</i> Matsumura			○	○
	ヒラサンハバチ	<i>Taxonus hirasanus</i> (Takeuchi)	○		○	
	バラクロハバチ	<i>Taxonus japonicus</i> Takeuchi	○		○	○
	ミノオクロハバチ	<i>Taxonus minomensis</i> (Takeuchi)			○	○
	(和名なし)	<i>Taxonus montanus</i> Togashi				○
	ウラシマソウハバチ	<i>Aglaostigma albicinctum</i> (Takeuchi)	○		○	○
	ウンモンアシナガハバチ	<i>Aglaostigma nebulosum</i> (Andre)			○	○

科名	和名	学名	A 地域	B 地域	C 地域	山岳 地域
(ハバチ科)	ハラアカアシナガハバチ	<i>Aglaostigma occipitosum</i> (Malaise)				○
	ヤスマツアシナガハバチ	<i>Aglaostigma yasumatsui</i> Togashi				○
	トゲアシハバチ	<i>Armitarsus punctifemorata</i> Malaise				○
	モンキハバチ	<i>Conaspidia guttata</i> (Matsumura)				○
	チュウジョウコシジロハバチ	<i>Corymbas chujoii</i> Togashi			○	○
	フトコシジロハバチ	<i>Corymbas nipponica</i> Takeuchi	○		○	○
	フタオビハバチ	<i>Jermakia sibirica</i> (Kriechbaumer)				○
	クロムネハバチ	<i>Lagidina irritans</i> (Smith)	○		○	○
	ヒゲナガハバチ	<i>Lagidina platycera</i> (Marlatt)	○		○	
	マダラアシクロハバチ	<i>Macrophya annulitibia</i> Takeuchi				○
	ツマジロクロハバチ	<i>Macrophya apicalis</i> Smith	○		○	○
	オオクロハバチ	<i>Macrophya carbonaria</i> Smith		○	○	○
	(和名なし)	<i>Macrophya coxalis</i> (Motschulsky)				□*2
	ウンモンクロハバチ	<i>Macrophya fascipennis</i> Takeuchi			○	○
	クロハバチ	<i>Macrophya ignava</i> Smith	○	○	○	○
	キタツマジロハバチ	<i>Macrophya infumata</i> Rohwer				○
	ゴマナクロハバチ	<i>Macrophya imitator</i> Takeuchi				○
	マライセクロハバチ	<i>Macrophya malaisei</i> Takeuchi	○			
	コクロハバチ	<i>Macrophya timida</i> Smith	○		○	○
	ヨモギシマハバチ	<i>Pachyprotasis okutanii</i> Inomata				□*2
	アジサイハバチ	<i>Perineura okutanii</i> Takeuchi		○		○
	イワガラミハバチ	<i>Perineura pictipennis</i> Takeuchi				○
	ツماغロハバチ	<i>Propodea fentoni</i> (Kirby)				○
	セマダラハバチ	<i>Rhogogaster nigriventris</i> Malaise				○
	オオコシアカハバチ	<i>Siobla ferox</i> (Smith)		○	○	○
	ルリコシアカハバチ	<i>Siobla metallica</i> Takeuchi				○
	コシアカハバチ	<i>Siobla sturmii</i> (Klug)				○
	ツマジロコシアカハバチ	<i>Siobla venusta apicalis</i> Takeuchi				○

科名	和名	学名	A 地域	B 地域	C 地域	山岳 地域
(ハバチ科)	ウスツマグロハバチ	<i>Tenthredo adusta adusta</i> Motschulsky				○
	(和名なし)	<i>Tenthredo alboannulata</i> (Takeuchi)				○
	ババハバチ	<i>Tenthredo babai</i> Takeuchi				○
	フキノクロハバチ	<i>Tenthredo bipunctula</i> <i>malaisei</i> (Takeuchi)				○
	アカバナハバチ	<i>Tenthredo colon</i> (Klug)				○
	オオシロヘリハバチ	<i>Tenthredo contusa</i> (Enslin)				○
	ツノジロナカアカハバチ	<i>Tenthredo ferruginea</i> Schrank				○
	セグロコシホソハバチ	<i>Tenthredo finschi seguro</i> Takeuchi				○
	キムネコシボソハバチ	<i>Tenthredo flavipectus</i> <i>flavipectus</i> (Matsumura)			○	
	ヤマブキハバチ	<i>Tenthredo fukaii</i> (Rohwer)			○	○
	ツマグロアカハバチ	<i>Tenthredo fuscoterminata</i> Marlatt				□*3
	コシアキハバチ	<i>Tenthredo gifui</i> Marlatt	○	○	○	
	ハラナガハバチ	<i>Tenthredo hilaris</i> Smith			○	○
	フタオビクロナガハバチ	<i>Tenthredo hokkaidonis</i> (Malaise)			○	○
	アオコシボソハバチ	<i>Tenthredo japonica</i> (Mocsary)				○
	ジョウザンハバチ	<i>Tenthredo jozana</i> (Matsumura)				□*3
	ハチガタハバチ	<i>Tenthredo matsumurai</i> (Takeuchi)	○		○	
	キコシホソハバチ	<i>Tenthredo mortivaga</i> Marlatt	○	○	○	○
	クロムネアオハバチ	<i>Tenthredo nigropicta</i> (Smith)			○	○
	オオセグロアオハバチ	<i>Tenthredo nitidiceps</i> (Takeuchi)				○
	(和名なし)	<i>Tenthredo opaciceps</i> (Takeuchi)				○
	(和名なし)	<i>Tenthredo ornatularia</i> Shinohara				○
	ナカジロルリハバチ	<i>Tenthredo picticornis</i> (Mocsary)				○
	オオツマグロハバチ	<i>Tenthredo providens</i> Smith				○
	オメガアオハバチ	<i>Tenthredo pseudolivacea</i> <i>omega</i> (Takeuchi)				□*2
	トガリハチガタハバチ	<i>Tenthredo smithii</i> Kirby			○	
	マエグロコシホソハバチ	<i>Tenthredo ussuriensis</i> Mocsary		○	○	

科名	和名	学名	A 地域	B 地域	C 地域	山岳 地域
(ハバチ科)	ハコネハバチ	<i>Tenthredo versuta</i> Mocsary				○
	トゲムネアオハバチ	<i>Tenthredo viridatrix nippon</i> Shinohara				○
キバチ科	ヒゲジロキバチ	<i>Urocerus antennatus</i> (Marlatt)	○			○
	ニホンキバチ	<i>Urocerus japonicus</i> (Smith)			○	○
クビナガキバチ 科	アカズクビナガキバチ	<i>Euxiphydria potanini</i> (Jakovlev)		○		
クキバチ科	ハクサンクキバチ	<i>Janus hakusanus</i> Togashi		○	○	
	モンクキバチ	<i>Janus japonicus</i> Sato	○			
コマユバチ科	マツムラベッコウコマ ユバチ	<i>Braunsia matsumurai</i> Watanabe			○	○
	クロヒゲアカコマユバ チ	<i>Cremnops desertor</i> (Linnaeus)			○	
	ウマノオバチ	<i>Euurobracon yokahamae</i> (DallaTorre)		○		
	キイロコウラコマユバ チ	<i>Phanerotoma flava</i> Ashmead	○			
	モモブツノコマユバ チ	<i>Helconidea ruspator</i> (Linnaeus)			○	○
	カミキリハラボソコマ ユバチ	<i>Meteorus corax</i> Marshall				○
	ニセアメイロコンボウ コマユバチ	<i>Homolobus infumator</i> (Lyle)				○
	コンボウケンヒメバチ	<i>Coleocentrus incertus</i> (Ashmead)			○	○
ヒメバチ科	タマヌキケンヒメバチ	<i>Jezarotes tamanukii</i> Uchida		○	○	○
	マルヤマケンヒメバチ	<i>Phaenolobus maruyamensis</i> Uchida			○	○
	ツماغロケンヒメバチ	<i>Spilopteron apicalis</i> (Matsumura)		○	○	
	(和名なし)	<i>Spilopteron tosensis</i> Uchida			○	
	オスアカケンヒメバチ	<i>Yamatarotes bicolor</i> Uchida			○	○
	(和名なし)	<i>Anomalon nigribase</i> Cushman				○
	コンボウアメバチ	<i>Habronyx insidiator</i> (Smith)		○		○
	カラフトコンボウアメ バチ	<i>Heteropelma amictum</i> (Fabricius)				○
	マツヤドリコンボウア メバチ	<i>Therion circumflexum</i> (Linnaeus)				○
	(和名なし)	<i>Alloplasta longipetolaris</i> (Uchida)			○	○



科名	和名	学名	A 地域	B 地域	C 地域	山岳 地域
(ヒメバチ科)	サキブトクロオナガヒメバチ	<i>Lissonota gigante</i> (Uchida)			○	○
	シリアカオナガヒメバチ	<i>Syzeuctus apicifer</i> (Walker)				○
	カオナガウスマルヒメバチ	<i>Exetastes bimaculatus</i> (Uchida)			○	○
	アカアシウスマルヒメバチ	<i>Exetastes fornicator miniatus</i> Uchida				○
	フクチヤマウスマルヒメバチ	<i>Exetastes fukuchiyamanus</i> Uchida				○
	アシナガウスマルヒメバチ	<i>Exetastes longipes</i> Uchida	○		○	○
	(和名なし)	<i>Glyptopimpla watanabei</i> (Momoi)				○
	(和名なし)	<i>Dusona bicoloripes</i> (Ashmead)				□*2
	キアシオナガトガリヒメバチ	<i>Acroricnus ambulator ambulator</i> (Smith)	○			
	シロテントガリヒメバチ	<i>Agrothereutes lanceolatus</i> (Walker)				○
	アシナガバチヤドリトガリヒメバチ	<i>Latibulus nigrinotum</i> (Uchida)				○
	キリガヤドリトガリヒメバチ	<i>Listrognathus eccopteromus</i> Uchida			○	
	(和名なし)	<i>Myrmeleonostenus babai</i> Uchida			○	
	アシブトクロトガリヒメバチ	<i>Pterocryptus uchidai</i> (Momoi)				○
	(和名なし)	<i>Trychosis yezoensis</i> (Uchida)	○			
	(和名なし)	<i>Echthrus rufipes</i> Uchida				○
	ケンチビトガリヒメバチ	<i>Polytribax penetrator</i> (Smith)				○
	(和名なし)	<i>Hadrodactylus orientalis</i> Uchida			○	
	スジブトマルヒメバチ	<i>Metopheltes petiolaris</i> Uchida				○
	(和名なし)	<i>Scolobates testaceus</i> Morley			○	
	(和名なし)	<i>Diacritus incompetus</i> Momoi				○
	(和名なし)	<i>Ortholaba tenuis</i> Townes				○
	(和名なし)	<i>Diplazon laetatorius</i> (Fabricius)			○	
	クロヒメバチ	<i>Amblyjoppa cognatoria</i> (Smith)	○	○	○	○

科名	和名	学名	A 地域	B 地域	C 地域	山岳 地域
(ヒメバチ科)	アシマダラヒメバチ	<i>Amblyjoppa forticornis maculifemorata</i> (Uchida)				○
	イヨヒメバチ	<i>Amblyjoppa proteus satanas</i> (Kriechbaumer)	○	○	○	○
	ハキヒメバチ	<i>Callajoppa exaltatoria mikado</i> (Cameron)	○	○		
	シロオビムラサキヒメバチ	<i>Coelichneumon cyaniventris</i> (Wesmael)				○
	トワダヒメバチ	<i>Protichneumon pisorius</i> (Linnaeus)				○
	シロスジヒメバチ	<i>Achaisus oratorius albizonellus</i> (Matsumura)		○	○	○
	ヤマガタヒメバチ	<i>Chasmias major</i> (Uchida)				○
	シロコブヒメバチ	<i>Cratichneumon japonicus</i> (Ashmead)	○	○	○	
	オオシロオビアオシヤクヤドリヒメバチ	<i>Cratichneumon papilionariae</i> (Uchida)				○
	ニイクニヒメバチ	<i>Diphyus niikunii</i> (Matsumura)				○
	オオアシプトヒメバチ	<i>Eupalamus giganteus</i> Uchida				○
	ハラアカヒメバチ	<i>Fileanta caterythra</i> Townes, Momoi et Townes		○		○
	アゲハヒメバチ	<i>Holcojoppa mactator</i> (Tosquinet)			○	○
	クロヒゲナガヒョウモンヒメバチ	<i>Hoplismenus speciosus</i> Uchida	○			
	ヒゲナガアカアシヒメバチ	<i>Hoplismenus terrificus</i> Wesmael				○
	シロテンアカヤガヒメバチ	<i>Ichneumon molitorius</i> Linnaeus	○		○	○
	キアシホソヒメバチ	<i>Ichneumon nipponicus</i> Uchida			○	
	(和名なし)	<i>Ichneumon sugiharai</i> Uchida	○			
	マダラヒメバチ	<i>Ichneumon yumyum</i> Kriechbaumer			○	
	リンゴケンモンヤドリヒメバチ	<i>Melanichneumon spectabilis</i> (Holmgren)	○			
	アカエグリヒメバチ	<i>Ulesta agitata</i> (Matsumura et Uchida)			○	
	ツバメシジミセアカヒメバチ	<i>Neotypus nobilitator orientalis</i> Uchida		○	○	
	エゾフタオヒメバチ	<i>Astiphromma jezoense</i> Uchida				○

科名	和名	学名	A 地域	B 地域	C 地域	山岳 地域
(ヒメバチ科)	ミノワフタオヒメバチ	<i>Mesochorus minowai</i> Uchida			○	
	スジコンボウヒメバチ	<i>Acerataspis sinensis</i> Michener				○
	(和名なし)	<i>Colpotrochia fusca</i> Matsumura			○	○
	(和名なし)	<i>Colpotrochia jozankeana</i> Uchida			○	○
	ムラサキメンガタヒメバチ	<i>Metopius dissectorius</i> (Panzer)			○	
	マルヤマメンガタヒメバチ	<i>Metopius maruyamensis</i> Uchida			○	
	ムラサキウスアメバチ	<i>Dictyonotus purpurascens</i> (Smith)			○	○
	シコクホシアメバチ	<i>Enicospilus shikokuensis</i> (Uchida)			○	
	アオバセセリアメバチ	<i>Ophion choaspese</i> (Uchida)				○
	マダラオオアメバチ	<i>Stauropogonus bombycivorus</i> (Gravenhorst)	○		○	
	(和名なし)	<i>Oxytorus corniger</i> (Momoi)				○
	クロヒゲフシオナガヒメバチ	<i>Acropimpla persimilis</i> (Ashimead)			○	
	(和名なし)	<i>Dolichomitus nakamurai</i> (Uchida)			○	○
	エゾホソオナガヒメバチ	<i>Ephialtes hokkaidonis</i> Uchida				○
	(和名なし)	<i>Paraperithous chui</i> (Uchida)			○	
	(和名なし)	<i>Scambus divergens</i> Uchida et Momoi	○		○	
	キスジハチヤドリヒメバチ	<i>Perithous scurra japonicus</i> Uchida	○			○
	コキアシヒラタヒメバチ	<i>Apechthis capulifera</i> (Kriechbaumer)			○	○
	キフタホシヒラタヒメバチ	<i>Apechthis rufata</i> (Gmelin)				○
	マツケムシヒラタヒメバチ	<i>Itoplectis alternans epinotiae</i> Uchida				○
	シロモンヒラタヒメバチ	<i>Pimpla alboannulata</i> (Uchida)			○	○
	マイマイヒラタヒメバチ	<i>Pimpla luctuosa</i> Smith	○		○	○
	チビキアシヒラタヒメバチ	<i>Pimpla nipponica</i> Uchida			○	

科名	和名	学名	A 地域	B 地域	C 地域	山岳 地域
(ヒメバチ科)	クロフシヒラタヒメバチ	<i>Pimpla pluto</i> Ashmead	○	○	○	○
	チャイロツヤヒラタヒメバチ	<i>Theronia atalantae gestator</i> (Thunberg)			○	○
	クロツヤヒラタヒメバチ	<i>Theronia laevigata nigra</i> Uchida			○	○
	(和名なし)	<i>Cnastis vulgaris</i> (Uchida)	○		○	○
	シロスジクチキヒメバチ	<i>Eugalta albimarginalis</i> (Uchida)			○	
	(和名なし)	<i>Pseudorhyssa alpestris</i> (Holmgren)				○
	(和名なし)	<i>Pseudorhyssa maculicoxis</i> (Kriechbaumer)				○
	オオホシオナガバチ	<i>Megarhyssa praecellens</i> (Tosquinet)		○	○	○
	シロフオナガバチ	<i>Rhyssa persuasoria</i> (Linnaeus)				○
	ガロアオナガバチ	<i>Triancyra galloisi</i> (Uchida)			○	○
	ヒロズツヤマルヒメバチ	<i>Cteniscus quadriceps</i> (Uchida)			○	
	サップロマルズオナガヒメバチ	<i>Ischnoceros sapporensis</i> Uchida		○		
カギバラバチ科	ハゴロモカギバラバチ	<i>Orthogonalys hagoromonis</i> Teranishi				○
	キスジセアカカギバラバチ	<i>Taeniogonalos fasciata</i> (Strand)			○	○
	マダラカギバラバチ (タマカギバラバチ)	<i>Taeniogonalos maga</i> (Teranishi)			○	○
ヤセバチ科	ゴキブリヤセバチ	<i>Evania appendigaster</i> Linnaeus	○	○		
セダカヤセバチ科	ホシセダカヤセバチ	<i>Pristaulacus intermedius</i> Uchida			○	○
コンボウヤセバチ科	ヒメコンボウヤセバチ	<i>Gasteruption assectator</i> (Linnaeus)				○
	オオコンボウヤセバチ	<i>Gasteruption jaculator</i> (Linnaeus)			○	○
シリアゲコバチ科	シリアゲコバチ	<i>Leucospis japonica</i> Walker				○
	オキナワシリアゲコバチ	<i>Leucospis sinensis</i> Walker	○			
アシプトコバチ科	フィスケアシプトコバチ	<i>Brachymeria fiskei</i> (Crawford)	○			○
	キアシプトコバチ	<i>Brachymeria lasus</i> (Walker)	○	○	○	

科名	和名	学名	A 地域	B 地域	C 地域	山岳 地域
(アシブトコバチ科)	アカアシブトコバチ	<i>Brachymeria podagrica</i> (Fabricius)			○	
	コシボソアシブトコバチ	<i>Chalcis fukuharai</i> Habu		○		
	イシイツヤアシブトコバチ	<i>Antrocephalus ishiii</i> Habu	○			
カタビロコバチ科	タマヤドリカタビロコバチ	<i>Eurytoma brunniventris</i> Ratzeburg		○		
オナガコバチ科	クリノタカラモンオナガコバチ	<i>Megastigmus nipponicus</i> Yasumatsu et Kamijo	○	○		
	オナガアシブトコバチ	<i>Podagrion nipponicum</i> Habu	○			
	クリタマオナガコバチ	<i>Torymus geranii</i> (Walker)		○		○
コガネコバチ科	(和名なし)	<i>Trigonoderus pulcher</i> Walker				○
アリガタバチ科	ムカシアリガタバチ	<i>Acrepyris japonicus</i> (Yasumatsu)	○	○		
	コバネアリガタバチ	<i>Epyris emiae</i> Terayama	○			
	ニオウアリガタバチ	<i>Epyris niwoh</i> Terayama			□*2	
	シモツケアリガタバチ	<i>Sierola shimotsukeana</i> Terayama			□*2	
セイボウ科	ヤマトセイボウモドキ	<i>Cleptes japonicus</i> Tosawa				○
	サトウセイボウモドキ	<i>Cleptes satoi</i> Tosawa				○
	フタツバトゲセイボウ	<i>Elampus bidens tristis</i> Tsuneki				○
	ハラアカマルセイボウ	<i>Hedychrum japonicum</i> Cameron		○		
	ホシツヤセイボウ	<i>Pseudomalus punctatus</i> (Uchida)	○			
	ムツバセイボウ	<i>Chrysis fasciata daphne</i> Smith			○	
	リンネセイボウ	<i>Chrysis ignita</i> (Linnaeus)				○
	ツマアカセイボウ	<i>Chrysis rubripyga</i> Tsuneki				○
アリバチ科	ツネキアリバチモドキ	<i>Myrmosa mongolica</i> Suarez				○
	ヤマトアリバチモドキ	<i>Myrmosa nigrofasciata</i> Yasumatsu	○	○	○	○
	ムネアカアリバチ	<i>Bischoffitilla pungens</i> (Smith)		○		
	ミカドアリバチ	<i>Mutilla mikado</i> Cameron			○	
	ルイスヒトホシアリバチ	<i>Smicromyrme lewisi</i> Mickel	○		○	
コツチバチ科	ハヤコツチバチ	<i>Tiphia agilis</i> Smith	○		○	○
	サキスジコツチバチ	<i>Tiphia brevilineata</i> Allen et Jaynes	○			

科名	和名	学名	A 地域	B 地域	C 地域	山岳 地域
(コツチバチ科)	スネアカコツチバチ	<i>Tiphia humoncularis</i> Parker	○			
	キスケコツチバチ	<i>Tiphia juliana</i> Parker	○			
	オオコツチバチ	<i>Tiphia latistriata</i> Allen et Jaynes			○	○
	ヤマコツチバチ	<i>Tiphia magnoliae</i> Tsuneki			○	
	マメコガネコツチバチ	<i>Tiphia popilliavora</i> Rohwer				○
	ダイテンコツチバチ	<i>Tiphia punctata</i> Smith				○
	アカハコツチバチ	<i>Tiphia rufomandibulata</i> <i>rufomandibulata</i> Smith	○	○	○	
	ニカコツチバチ	<i>Tiphia sternata</i> Parker	○	○	○	○
	ハルコツチバチ	<i>Tiphia vernalis</i> Rohwer		○	○	○
	ホソツヤアリバチ	<i>Methocha yasumatsui</i> Iwata				○
	ツチバチ科	コモンツチバチ	<i>Scolia decorata ventralis</i> Smith	○		
アカスジツチバチ		<i>Scolia fascinata fascinata</i> (Smith)	○	○	○	○
キオビツチバチ		<i>Scolia oculata</i> (Matsumura)		○	○	○
ヒメハラナガツチバチ		<i>Campsomeriella annulata</i> <i>annulata</i> (Fabricius)	○	○	○	
オオハラナガツチバチ		<i>Megacampsomeris grossa</i> <i>matsumurai</i> (Betrem)	○			○
キンケハラナガツチバチ		<i>Megacampsomeris prismatica</i> (Smith)	○	○	○	○
シロオビハラナガツチバチ		<i>Megacampsomeris schulthessi</i> (Betrem)				○
ウチダハラナガツチバチ		<i>Megacampsomeris uchidai</i> (Betrem)	○	○	○	
アリ科	トゲズネハリアリ	<i>Cryptopone sauteri</i> (Wheeler)	○	○	○	○
	テラニシハリアリ	<i>Ponera scabra</i> Wheeler	○		○	
	ニセハリアリ	<i>Hypoponera sauteri</i> Onoyama	○		○	
	オオハリアリ	<i>Pachycondyla chinensis</i> (Emery)	○	○	○	
	エゾクシケアリ	<i>Myrmica jessensis</i> Forel				○
	シワクシケアリ	<i>Myrmica kotokui</i> Forel		○		○
	キイロクシケアリ	<i>Myrmica rubra</i> (Linnaeus)				○
	アシナガアリ	<i>Aphaenogaster famelica</i> (Smith)			○	○
	ヤマトアシナガアリ	<i>Aphaenogaster japonica</i> Forel				○
	クロナガアリ	<i>Messor aciculatus</i> (Smith)	○	○	○	
	アズマオオズアリ	<i>Pheidole fervida</i> Smith	○	○	○	○
ハリナガムネボソアリ	<i>Temnothorax spinosior</i> (Forel)	○				

科名	和名	学名	A 地域	B 地域	C 地域	山岳 地域
(アリ科)	トビイロシワアリ	<i>Tetramorium tsushimae</i> Emery	○	○	○	○
	トフシアリ	<i>Solenopsis japonica</i> Wheeler				□*4
	コツノアリ	<i>Oligomyrmex yamatonis</i> Terayama	○			
	ウメマツアリ	<i>Vollenhovia emeryi</i> Wheeler	○		○	
	カドフシアリ	<i>Myrmecina nipponica</i> Wheeler	○	○	○	
	アミメアリ	<i>Pristomyrmex pungens</i> Mayr	○	○	○	
	ハリブトシリアゲアリ	<i>Crematogaster matsumurai</i> Forel			○	
	テラニシシリアゲアリ	<i>Crematogaster teranishii</i> Santschi				○
	キイロシリアゲアリ	<i>Crematogaster osakensis</i> Forel	○	○		
	キタウロコアリ	<i>Strumigenys</i> sp. 4	○		○	
	シベリアカタアリ	<i>Dolichoderus sibiricus</i> Emery				□*4
	ヒラフシアリ	<i>Technomyrmex gibbosus</i> Wheeler	○			
	アメイロアリ	<i>Paratrechina flavipes</i> (Smith)	○	○	○	○
	サクラアリ	<i>Paratrechina sakurae</i> (Ito)	○	○		
	ハヤシケアリ	<i>Lasius hayashi</i> Yamauchi et Hayashida				○
	トビイロケアリ	<i>Lasius japonicus</i> Santschi	○	○	○	○
	ヒゲナガケアリ	<i>Lasius productus</i> Wilson				□*4
	カワラケアリ	<i>Lasius sakagamii</i> Yamauchi et Hayashida			○	
	キイロケアリ	<i>Lasius flavus</i> (Fabricius)			○	○
	ミナミキイロケアリ	<i>Lasius sonobei</i> Yamauchi			○	
	ヒメキイロケアリ	<i>Lasius talpa</i> Wilson		□*4	□*4	
	ヒゲナガアメイロアリ	<i>Lasius meridionalis</i> (Bondroit)	○	○	○	○
	フシボソクサアリ	<i>Lasius capitatus</i> (Kuznetsov-Ugamsky)	○			
	クロクサアリ	<i>Lasius nipponensis</i> Forel	○	○	○	○
	モリシタケアリ	<i>Lasius morishitai</i> Yamauchi	○			
	クサアリモドキ	<i>Lasius spathepus</i> Wheeler				○
	テラニシケアリ	<i>Lasius teranishii</i> Wheeler				□*4
	アカヤマアリ	<i>Formica sanguinea</i> Latreille				○
	ツノアカヤマアリ	<i>Formica fukaii</i> Wheeler				□*5
	エゾアカヤマアリ	<i>Formica yessensis</i> Wheeler				○
	クロヤマアリ	<i>Formica japonica</i> Motschulsky	○	○	○	○

科名	和名	学名	A 地域	B 地域	C 地域	山岳 地域
(アリ科)	ハヤシクロヤマアリ	<i>Formica hayashi</i> Terayama et Hashimoto				○
	クロオオアリ	<i>Camponotus japonicus</i> Mayr	○	○	○	○
	ムネアカオオアリ	<i>Camponotus obscuripes</i> Mayr	○	○	○	○
	ミカドオオアリ	<i>Camponotus kiusiuensis</i> Santschi	○	○		
	ヨツボシオオアリ	<i>Camponotus quadrinotatus</i> Forel	○	○	○	
	トゲアリ	<i>Polyrhachis lamellidens</i> Smith			○	
クモバチ科	ナミヒメクモバチ	<i>Auplopus carbonarius</i> (Scopoli)	○		○	○
	ハナナガヒメクモバチ	<i>Auplopus constructor</i> (Smith)	○		○	
	オオヒメクモバチ	<i>Auplopus pygialis</i> (Perez)			○	○
	シラキトゲアシクモバチ	<i>Caliadurgus ussuriensis</i> (Gussakovskij)		○	○	○
	ヒゲボソトゲアシクモバチ	<i>Ctenopriocnemis filicornis</i> Ishikawa				○
	シロゲヒゲクモバチ	<i>Dipogon albithrix</i> Shimizu et Ishikawa				○
	コガタヒゲクモバチ	<i>Dipogon bifasciatus</i> (Geoffroy)			○	
	ペレーヒゲクモバチ	<i>Dipogon conspersus</i> (Perez)				○
	コシボソヒゲクモバチ	<i>Dipogon immarginatus</i> (Gussakovskij)				○
	ニッポンヒゲクモバチ	<i>Dipogon nipponicus</i> (Yasumatsu)			○	
	ウスゲヒゲクモバチ	<i>Dipogon romankovae</i> Lelej				○
	シロオビヒゲクモバチ	<i>Dipogon sperconsus</i> Shimizu et Ishikawa			○	
	フタスジクモバチ	<i>Eopompilus internalis</i> (Matsumura)		○	○	○
	コフタスジクモバチ	<i>Eopompilus minor</i> Gussakovskij	○			
	キバネトゲアシクモバチ	<i>Platydialepis ryoheii</i> (Ishikawa)			○	○
	コトゲアシクモバチ	<i>Priocnemis atropos</i> Smith	○	○	○	○
	ホソトゲアシクモバチ	<i>Priocnemis cyphonota</i> Perez	○			
	アカゴシトゲアシクモバチ	<i>Priocnemis fenestrata</i> Gussakovskij	○			
	トゲアシオオクモバチ	<i>Priocnemis irritabilis</i> Smith	○	○	○	○
	イシカワトゲアシクモバチ	<i>Priocnemis ishikawai</i> Lelej	○			



科名	和名	学名	A 地域	B 地域	C 地域	山岳 地域
(クモバチ科)	カオコブトゲアシクモバチ	<i>Priocnemis mitakensis</i> Ishikawa			○	
	ナガセトゲアシクモバチ	<i>Priocnemis nagasei</i> Ishikawa				○
	イシカワクモバチ	<i>Agenioideus ishikawai</i> Shimizu			○	
	オオモンクロクモバチ	<i>Anoplius samariensis</i> (Pallas)	○	○	○	○
	カタヅメクモバチ	<i>Anoplius separatus</i> (Haupt)	○			○
	ヤマモトクロクモバチ	<i>Anospilus carbonicolor</i> (Gussakovskij)			○	
	ナミモンクモバチ	<i>Batozonellus maculifrons</i> (Smith)	○	○		
	オオシロフクモバチ	<i>Episyron arrogans</i> (Smith)	○	○	○	○
	フタモンクモバチ	<i>Parabatozonus jankowskii</i> (Radoszkowski)	○		○	○
	ヤドリクモバチ	<i>Irenangelus hikosanus</i> Wahis			○	○
	クロヤドリクモバチ	<i>Irenangelus nambui</i> Shimizu				○
	ドロバチ科	アトボシキタドロバチ	<i>Allodynerus delphinalis</i> <i>delphinalis</i> (Giraud)			○
ヤマトスジドロバチ		<i>Ancistrocerus japonicus</i> (Schulthess)			○	○
ケブカスジドロバチ		<i>Ancistrocerus melanocerus</i> (Dalla Torre)			○	○
シブヤスジドロバチ		<i>Ancistrocerus trifasciata</i> <i>shibuyai</i> (Yasumatsu)				○
オオフタオビドロバチ		<i>Anterhynchium</i> <i>flavomarginatum micado</i> (Kirsch)	○	○	○	○
フタスジスズバチ		<i>Discoelius japonicus</i> Perez	○		○	
ミカドトックリバチ		<i>Eumenes micado</i> Cameron	○	○	○	○
キアシトックリバチ		<i>Eumenes rubrofemoratus</i> Giordani Soika	○		○	
ムモントックリバチ		<i>Eumenes rubronotatus</i> Perez	○	○	○	○
カバオビドロバチ		<i>Euodynerus dantici</i> <i>violaceipennis</i> Giordani Soika	○			
エントツドロバチ		<i>Orancistrocerus drewseni</i> <i>drewseni</i> (Saussure)	○	○		○
スズバチ		<i>Oreumenes decoratus</i> (Smith)	○	○	○	
ナミカバフドロバチ		<i>Pararrhynchium ornatum</i> <i>ornatum</i> (Smith)	○	○		

科名	和名	学名	A 地域	B 地域	C 地域	山岳 地域
(ドロバチ科)	カタグロチビドロバチ	<i>Stenodynerus chinensis simillimus</i> Sk. Yamane et Gusenleitner	○	○	○	○
	フトカギチビドロバチ	<i>Stenodynerus clypeopictus</i> (Kostylev)				○
	キオビチビドロバチ	<i>Stenodynerus frauenfeldi</i> (Saussure)	○		○	
	ムナグロチビドロバチ	<i>Stenodynerus tokyanus tokyanus</i> (Kostylev)	○	○	○	○
	カタトゲハムシドロバチ	<i>Symmorphus cliens</i> Giordani Soika			○	○
	クチビロハムシドロバチ	<i>Symmorphus decens</i> (Kostylev)		○	○	○
	ハラナガハムシドロバチ	<i>Symmorphus foveolatus</i> Gussakovskij				○
スズメバチ科	ムモンホソアシナガバチ	<i>Parapolybia indica indica</i> (Saussure)	○	○	○	○
	ヒメホソアシナガバチ	<i>Parapolybia varia</i> (Fabricius)	○	○	○	○
	フタモンアシナガバチ	<i>Polistes chinensis antennalis</i> Perez	○	○	○	○
	セグロアシナガバチ	<i>Polistes jokahamae</i> Radoszkowski				○
	キボシアシナガバチ	<i>Polistes nipponensis</i> Perez	○	○	○	○
	コアシナガバチ	<i>Polistes snelleni</i> Saussure	○	○	○	○
	キオビホオナガスズメバチ	<i>Dolichovespula media sugare</i> Ishikawa				○
	ニッポンホオナガスズメバチ	<i>Dolichovespula saxonica nipponica</i> Sk. Yamane				○
	コガタスズメバチ	<i>Vespa analis insularis</i> Dalla Torre	○		○	
	モンズズメバチ	<i>Vespa crabro flavofasciata</i> Cameron	○			○
	ヒメズズメバチ	<i>Vespa ducalis pulchra</i> Buysson	○	○	○	
	チャイロスズメバチ	<i>Vespa dybowskii</i> Andre				○
	オオズズメバチ	<i>Vespa mandarinia japonica</i> Radoszkowski			○	○
	キイロスズメバチ	<i>Vespa simillima xanthoptera</i> Cameron	○	○	○	○
	クロスズメバチ	<i>Vespula flaviceps lewisii</i> Cameron		○	○	○
	ツヤクロスズメバチ	<i>Vespula rufa schrenckii</i> (Radoszkowski)				○

科名	和名	学名	A 地域	B 地域	C 地域	山岳 地域
(スズメバチ科)	シダクロスズメバチ	<i>Vespula shidai shidai</i> Ishikawa, Sk. Yamane et Wagner	○	○	○	○
	キオビクロスズメバチ	<i>Vespula vulgaris</i> (Linnaeus)				○
アナバチ科	ヤマトルリジガバチ	<i>Chalybion japonicum</i> (Gribodo)	○		○	○
	ニッポンモンキジガバチ	<i>Sceliphron deforme nipponicum</i> Tsuneki				○
	アルマンアナバチ	<i>Isodontia harmandi</i> (Perez)			○	○
	コクロアナバチ	<i>Isodontia nigella</i> (Smith)	○	○	○	
	クロアナバチ	<i>Sphex argentatus fumosus</i> Kohl			○	
	ヤマジガバチ	<i>Ammophila infesta</i> Smith	○	○	○	○
	サトジガバチ	<i>Ammophila sabulosa nipponica</i> Tsuneki	○	○	○	
	ミカドジガバチ	<i>Hopammophila aemulans</i> (Kohl)	○	○		
	アリマキバチ科	サメシマヨコバイバチ	<i>Mimumesa atratina longula</i> (Gussakovskij)			□*6
ヤマヨコバイバチ		<i>Psen affinis</i> Gussakovskij				○
キヌヒゲヨコバイバチ		<i>Psen ater</i> (Olivier)				□*3
カオキンヨコバイバチ		<i>Psen aurifrons</i> Tsuneki		○		○
ベツトウヨコバイバチ		<i>Psen bettoh</i> Tsuneki				○
ジンムヨコバイバチ		<i>Psen dzimm</i> Tsuneki			○	○
シワヨコバイバチ		<i>Psen exaratus exaratus</i> (Eversmann)	○		○	
タカミネヨコバイバチ		<i>Psen seminitidus</i> Van Lith				○
オオアゴヨコバイバチ		<i>Psen ussuriensis</i> Van Lith				○
オオアゴマエダテバチ		<i>Psenulus anomoneurae</i> (Yasumatsu)			○	○
エゾマエダテバチ		<i>Psenulus gussakovskiji</i> Van Lith				○
ペレーマエダテバチ		<i>Psenulus lubricus</i> (Perez)				○
ニッコウマエダテバチ		<i>Psenulus nikkoensis</i> Tsuneki			○	
ヤマトマエダテバチ		<i>Psenulus pallipes yamatonis</i> Tsuneki			□*6	
タナカマエダテバチ		<i>Psenulus tanakai</i> Tsuneki			○	○
オオエンモンバチ		<i>Carinostigmus filippovi</i> (Gussakovskij)	○		○	○
ヒメイスカバチ		<i>Passaloecus clypealis yamato</i> Tsuneki	○			
ジュズダマイスカバチ		<i>Passaloecus monilicornis</i> Dahlbom			○	○

科名	和名	学名	A 地域	B 地域	C 地域	山岳 地域
(アリマキバチ科)	アバタアリマキバチ	<i>Pemphredon diervillae</i> Iwata	○	○	○	○
	オオアリマキバチ	<i>Pemphredon japonica</i> Matsumura				○
	オオグシアリマキバチ	<i>Pemphredon lethifer</i> (Shuckard)	○		○	○
	スダアリマキバチ	<i>Pemphredon sudai</i> Tsuneki				○
	カイアリマキバチ	<i>Pemphredon sudaorum</i> Tsuneki				○
ギングチバチ科	クロケラトリバチ	<i>Larra carbonaria</i> (Smith)		○	○	
	ヒメコオロギバチ	<i>Liris festinans japonicus</i> (Kohl)	○	○	○	
	ヌカダカバチ	<i>Tachysphex nigricolor</i> <i>nigricolor</i> (Dalla Torre)			○	
	ヒメハヤバチ	<i>Tachytes furticis</i> Tsuneki			○	
	ヒロズハヤバチ	<i>Tachytes latifrons</i> Tsuneki	○	○	○	○
	オオハヤバチ	<i>Tachytes sinensis sinensis</i> Smith	○	○	○	
	ヤマトコトガタバチ	<i>Lyroda nigra japonica</i> Iwata			□*6	
	トゲジガバチモドキ	<i>Trypoxylon errans</i> Saussure			□*6	
	ケシジガバチモドキ	<i>Trypoxylon exiguum exiguum</i> Tsuneki				○
	ヒメジガバチモドキ	<i>Trypoxylon fronticorne</i> <i>japonense</i> Tsuneki	○		○	
	ニッポンジガバチモドキ	<i>Trypoxylon nipponicum</i> Tsuneki				○
	コシブトジガバチモドキ	<i>Trypoxylon pacificum</i> Gussakovskij		○	○	
	マダラジガバチモドキ	<i>Trypoxylon rufimaculatum</i> Antropov				○
	ヤマトトゲアナバチ	<i>Oxybelus strandi</i> Yasumatsu	○		○	○
	ハトガユギングチ	<i>Crossocerus fukuensis</i> Tsuneki				○
	ガガンボギングチ	<i>Crossocerus vagabundus</i> <i>esakii</i> (Yasumatsu)		○	○	
	アタマギングチ	<i>Crossocerus capitosus yezo</i> Tsuneki			○	○
	ヒラアシギングチ	<i>Crossocerus cetratus</i> (Shuckard)				○
	ニッコウギングチ	<i>Crossocerus nikkoensis</i> Tsuneki	○		○	○
	ハクサンギングチ	<i>Crossocerus hakusanus</i> Tsuneki				○

科名	和名	学名	A 地域	B 地域	C 地域	山岳 地域
(ギングチバチ科)	スズキギングチ	<i>Crossocerus subulatus suzukii</i> (Matsumura)			○	
	アムールギングチ	<i>Crossocerus amurensis</i> (Kohl)				○
	クロユビギングチ	<i>Ectemnius nigritarsus</i> (Herrich-Schaeffer)	○		○	○
	ミズホギングチ	<i>Ectemnius radiatus</i> (Perez)			○	○
	クボズギングチ	<i>Ectemnius cavifrons aurarius</i> (Matsumura)			○	○
	メスキングチ	<i>Ectemnius lapidarius</i> (Panzer)				○
	ヒラズギングチ	<i>Ectemnius ruficornis</i> (Zetterstedt)				○
	カタトゲギングチ	<i>Ectemnius dives</i> (Lepeletier et Brulle)				○
	ナミギングチ	<i>Ectemnius continuus</i> (Fabricius)			○	○
	クララギングチ	<i>Ectemnius rubicola nipponis</i> Tsuneki	○	○	○	○
	イワタギングチ	<i>Ectemnius schlettereri japonicus</i> Tsuneki	○	○		
	シロスジギングチ	<i>Ectemnius iridifrons</i> (Perez)	○		○	○
	ジョウザンギングチ	<i>Ectemnius spinipes tetracanthus</i> (Perez)			○	
	クビワギングチ	<i>Lestica collaris</i> (Matsumura)	○	○	○	○
	クラマガングチ	<i>Lestica reiteri</i> (Kohl)		○	○	○
	クロギングチ	<i>Rhopalum latronum</i> (Kohl)			○	○
	キスケギングチ	<i>Rhopalum guttatum</i> Tsuneki				○
ニトベギングチ	<i>Spadicocrabro nitobei</i> (Matsumura)				○	
ハエトリバチ科	ハエトリバチ	<i>Mellinus arvensis obscurus</i> Handlirsch			○	○
ドロバチモドキ科	ニッポンツヤアナバチ	<i>Alysson cameroni</i> Yasumatsu et Masuda	○	○	○	○
	ヤマトドロバチモドキ	<i>Nippononysson rufopictus</i> Yasumatsu et Moidl				○
	オオドロバチモドキ	<i>Nysson spinosus malaisei</i> Gussakovskij	○		○	○
	ヒメドロバチモドキ	<i>Nysson trimaculatus japonicus</i> Tsuneki				○
	オオアワフキバチ	<i>Argogorytes mystaceus grandis</i> (Gussakovskij)	○		○	○
	コイケアワフキバチ	<i>Eogorytes fulvohirtus</i> (Tsuneki)				○

科名	和名	学名	A 地域	B 地域	C 地域	山岳 地域
(ドロバチモドキ科)	ナミアワフキバチ	<i>Gorytes maculicornis</i> (Morawitz)				□*2
	ミスジアワフキバチ	<i>Gorytes tricinctus</i> (Perez)			○	
	フタモンアワフキバチ	<i>Lestiphorus bilunulatus yamatonis</i> Tsuneki				○
フシダカバチ科	アカアシツチスガリ	<i>Cerceris albofasciata</i> (Rossi)	○			
	ヒメツチスガリ	<i>Cerceris carinalis</i> Perez	○			○
	ナミツチスガリ	<i>Cerceris hortivaga</i> Kohl	○	○	○	○
	マルモンツチスガリ	<i>Cerceris japonica</i> Ashmead	○	○		
	ニッポンツチスガリ	<i>Cerceris nipponensis</i> Tsuneki			○	○
ムカシハナバチ科	ババムカシハナバチ	<i>Colletes babai</i> Hirashima et Tadauchi				○
	オオムカシハナバチ	<i>Colletes collaris</i> Dours	○	○	○	○
	アシブトムカシハナバチ	<i>Colletes patellatus</i> Perez		○	○	○
	スミスメンハナバチ	<i>Hylaeus floralis</i> (Smith)	○		○	○
	アルマンメンハナバチ	<i>Hylaeus globula</i> (Vachal)			○	○
	マツムラメンハナバチ	<i>Hylaeus matsumurai</i> Bridwell		○		
	ニッポンメンハナバチ	<i>Hylaeus nippon</i> Hirashima	○	○	○	○
	ヨーロッパメンハナバチ	<i>Hylaeus pectoralis</i> Forster			○	
	オモゴメンハナバチ	<i>Hylaeus submonticola</i> Ikudome			○	○
ヒメハナバチ科	アブラナヒメハナバチ	<i>Andrena aburana</i> Hirashima				○
	ウズキヒメハナバチ	<i>Andrena benefica</i> Hirashima	○		○	○
	アトヒラアシヒメハナバチ	<i>Andrena brevihirtiscopa</i> Hirashima		○		○
	エサキヒメハナバチ	<i>Andrena esakii</i> Hirashima				○
	カオジロヒメハナバチ	<i>Andrena hondoica</i> Hirashima				○
	イシハラヒメハナバチ	<i>Andrena ishiharai</i> Hirashima				○
	スネナガヒメハナバチ	<i>Andrena longitibialis</i> Hirashima		○	○	○
	ミカドヒメハナバチ*	<i>Andrena mikado</i> Strand et Yasumatsu				○
	サカガミヒメハナバチ	<i>Andrena sakagamii</i> Tadauchi, Hirashima et Matsumura			○	○
	サラガミネヒメハナバチ*	<i>Andrena saragamineensis</i> Hirashima	○	○		○
	ウツギヒメハナバチ	<i>Andrena prostomias</i> Perez	○		○	
	コガタウツギヒメハナバチ	<i>Andrena tsukubana</i> Hirashima	○		○	

科名	和名	学名	A 地域	B 地域	C 地域	山岳 地域
(ヒメハナバチ科)	キバナヒメハナバチ	<i>Andrena knuthi</i> Alfken	○	○	○	○
	ヤヨイヒメハナバチ	<i>Andrena hebes</i> Perez	○	○	○	○
	シロヤヨイヒメハナバチ	<i>Andrena luridiloma</i> Strand	○	○	○	○
	タカチホヒメハナバチ	<i>Andrena takachihoi</i> Hirashima		○		
	トガシヒメハナバチ*	<i>Andrena togashii</i> Tadauchi et Hirashima				○
	アキツシマヒメハナバチ	<i>Andrena akitsushimae</i> Tadauchi et Hirashima			○	○
	トゲホオヒメハナバチ	<i>Andrena dentata</i> Smith		○		○
	ミヤモトヒメハナバチ	<i>Andrena miyamotoi</i> Hirashima			○	○
	モモヒメハナバチ*	<i>Andrena pruniphora</i> Hirashima				○
	クロツヤヒメハナバチ	<i>Andrena richardsi</i> Hirashima				○
	ムネアカハラビロヒメハナバチ	<i>Andrena parathoracica</i> Hirashima			○	○
	ササキヒメハナバチ	<i>Andrena sasakii</i> Cockerell			○	○
	ワタセヒメハナバチ	<i>Andrena watasei</i> Cockerell			○	○
	ヒコサンマメヒメハナバチ	<i>Andrena hikosana</i> Hirashima	○	○	○	○
	カグヤマメヒメハナバチ	<i>Andrena kaguya</i> Hirashima	○	○	○	○
	コマチマメヒメハナバチ*	<i>Andrena komachi</i> Hirashima	○			
	マメヒメハナバチ	<i>Andrena minutula</i> (Kirby)	○	○	○	○
	ムナカタマメヒメハナバチ*	<i>Andrena munakatai</i> Tadauchi	○	○	○	○
	アブラナマメヒメハナバチ	<i>Andrena semirugosa</i> <i>brassicae</i> Hirashima	○	○	○	○
	ツヤマメヒメハナバチ	<i>Andrena sublevigata</i> Hirashima			○	
	アキノヤマテヒメハナバチ	<i>Andrena mitakensis</i> Hirashima				○
	ミツクリフシダカヒメハナバチ	<i>Andrena japonica</i> (Smith)	○	○	○	
	ナカヒラアシヒメハナバチ	<i>Andrena opacifovea</i> Hirashima	○	○	○	○
	ヤマトヒメハナバチ	<i>Andrena yamato</i> Tadauchi et Hirashima	○	○	○	○

科名	和名	学名	A 地域	B 地域	C 地域	山岳 地域
(ヒメハナバチ科)	コガタホオナガヒメハナバチ	<i>Andrena lonicerae</i> Tadauchi et Hirashima	○		○	
	エゾヒメハナバチ	<i>Andrena ezoensis</i> Hirashima		○		○
	ムネアカキアシヒメハナバチ	<i>Andrena haemorrhoa japonibia</i> Hirashima				○
コハナバチ科	アトジマコハナバチ	<i>Halictus tsingtouensis</i> Strand	○			
	アカガネコハナバチ	<i>Halictus aerarius</i> Smith	○	○	○	○
	ブラキストンコハナバチ	<i>Lasioglossum blakistoni</i> Sakagami et Munakata			○	○
	(和名なし)	<i>Lasioglossum miyabei</i> Muraio, Ebmer et Tadauchi				○
	ヒラシマアオコハナバチ	<i>Lasioglossum problematicum</i> (Bluthgen)			○	○
	(和名なし)	<i>Lasioglossum yamanei</i> Muraio, Ebmer et Tadauchi			○	
	ズマルコハナバチ	<i>Lasioglossum affine</i> (Smith)	○		○	○
	クラカケチビコハナバチ	<i>Lasioglossum allodalum</i> Ebmer et Sakagami			○	○
	ニジイロコハナバチ	<i>Lasioglossum apristum</i> (Vachal)		○	○	○
	シオカワコハナバチ	<i>Lasioglossum baleicum</i> (Cockerell)				○
	ホクダイコハナバチ	<i>Lasioglossum duplex</i> (Dalla Torre)	○	○	○	○
	シモフリチビコハナバチ	<i>Lasioglossum frigidum</i> Sakagami et Ebmer	○			
	ニセキオビコハナバチ	<i>Lasioglossum hoffmanni</i> (Strand)	○		○	
	ニッポンチビコハナバチ	<i>Lasioglossum japonicum</i> (Dalla Torre)	○	○	○	○
	クロシオチビコハナバチ	<i>Lasioglossum kuroshio</i> Sakagami et Takahashi		○	○	○
	オオズナガチビコハナバチ	<i>Lasioglossum longifacies</i> Sakagami et Tadauchi			○	○
	(和名なし)	<i>Lasioglossum metis</i> Ebmer			○	○
	ニッポンコハナバチ	<i>Lasioglossum nipponense</i> (Hirashima)			○	○
	オバケチビコハナバチ	<i>Lasioglossum pallilomum</i> (Strand)	○	○	○	○
	コビトチビコハナバチ*	<i>Lasioglossum pumilum</i> Sakagami et Tadauchi	○			



科名	和名	学名	A 地域	B 地域	C 地域	山岳 地域
(コハナバチ科)	シマチビコハナバチ*	<i>Lasioglossum sexstrigatum</i> (Schenck)		○		
	キオビコハナバチ	<i>Lasioglossum sibiriacum</i> (Bluthgen)	○	○	○	○
	ヒラタチビコハナバチ	<i>Lasioglossum taeniolellum</i> (Vachal)	○		○	
	ハネダチビコハナバチ	<i>Lasioglossum transpositum</i> (Cockerell)	○		○	○
	ケナガチビコハナバチ	<i>Lasioglossum villosulum</i> <i>trichopse</i> (Strand)	○			
	ヒゲナガコハナバチ	<i>Lasioglossum vulsum</i> (Vachal)			○	○
	エブメルツヤコハナバチ	<i>Lasioglossum ebmerianum</i> Sakagami et Tadauchi			○	○
	ミヤマツヤコハナバチ	<i>Lasioglossum exiliceps</i> (Vachal)		○	○	○
	アルマンカタコハナバチ	<i>Lasioglossum harmandi</i> (Vachal)				○
	エゾカタコハナバチ	<i>Lasioglossum kansuense</i> (Bluthgen)		○	○	○
	ハラナガツヤコハナバチ	<i>Lasioglossum laeviventre</i> (Perez)			○	○
	サビイロカタコハナバチ	<i>Lasioglossum mutilum</i> (Vachal)	○	○	○	○
	ニッポンカタコハナバチ	<i>Lasioglossum nipponicola</i> Sakagami et Tadauchi	○	○	○	○
	シロスジカタコハナバチ	<i>Lasioglossum occidens</i> (Smith)	○	○	○	○
	ズマルツヤコハナバチ	<i>Lasioglossum proximatum</i> (Smith)	○	○	○	○
	フタモンカタコハナバチ	<i>Lasioglossum scitulum</i> (Smith)	○	○	○	○
	オウレンヤドリコハナバチ	<i>Sphecodes coptis</i> Tsuneki				○
	ミズホヤドリコハナバチ	<i>Sphecodes japonicus</i> Cockerell	○		○	○
	コイケヤドリコハナバチ	<i>Sphecodes koikensis</i> Tsuneki			○	○
	マルヤマヤドリコハナバチ	<i>Sphecodes maruyamanus</i> Tsuneki				○
	ムロタヤドリコハナバチ	<i>Sphecodes murotai</i> Tsuneki				○

科名	和名	学名	A 地域	B 地域	C 地域	山岳 地域
(コハナバチ科)	ヤマトヤドリコハナバチ	<i>Sphcodes nipponicus</i> Yasumatsu et Hirashima	○	○	○	○
	オクエツヤドリコハナバチ	<i>Sphcodes okuyetsu</i> Tsuneki			○	○
	シロウズヤドリコハナバチ	<i>Sphcodes shirozui</i> Tsuneki			○	
	モリノヤドリコハナバチ	<i>Sphcodes silvicola</i> Tsuneki			○	○
	エサキヤドリコハナバチ	<i>Sphcodes simillimus</i> Smith			○	○
	ヤスマツコンボウハナバチ	<i>Lipotriches yasumatsui</i> (Hirashima)	○	○	○	
ハキリバチ科	トモンハナバチ	<i>Anthidium septemspinosum</i> Lepeletier				○
	ハラアカヤドリハキリバチ	<i>Euaspis basalis</i> (Ritsema)		○	○	○
	オオトガリハナバチ	<i>Coelioxys fenestrata</i> Smith		○	○	○
	ヒロバトガリハナバチ	<i>Coelioxys hiroba</i> Nagase	○	○	○	○
	ヤノトガリハナバチ	<i>Coelioxys yanonis</i> Matsumura	○	○	○	○
	オオハキリバチ	<i>Megachile sculpturalis</i> Smith		○	○	○
	スミスハキリバチ	<i>Megachile humilis</i> Smith	○	○	○	○
	ヤマトハキリバチ	<i>Megachile japonica</i> Alfken				○
	キョウトハキリバチ	<i>Megachile kyotensis</i> Alfken			○	
	バラハキリバチ	<i>Megachile nipponica</i> <i>nipponica</i> Cockerell	○	○	○	○
	サカガミハキリバチ	<i>Megachile remota sakagamii</i> Hirashima et Maeta		○	○	○
	スミゾメハキリバチ	<i>Megachile sumizome</i> Hirashima et Maeta	○	○		○
	ツルガハキリバチ	<i>Megachile tsurugensis</i> Cockerell	○	○	○	○
	マイマイツツハナバチ	<i>Osmia orientalis</i> Benoist				○
	マメコバチ	<i>Osmia cornifrons</i> (Radoszkowski)	○	○	○	○
	ツツハナバチ	<i>Osmia taurus</i> Smith			○	○
	ミツバチ科	キムネクマバチ	<i>Xylocopa appendiculata</i> <i>circumvolans</i> Smith	○	○	○
エサキツヤハナバチ		<i>Ceratina esakii</i> Yasumatsu et Hirashima			○	○
イワタチビツヤハナバチ		<i>Ceratina iwatai</i> Yasumatsu	○	○		

科名	和名	学名	A 地域	B 地域	C 地域	山岳 地域
(ミツバチ科)	クロツヤハナバチ	<i>Ceratina megastigmata</i> Yasumatsu et Hirashima				○
	サトウチビツヤハナバチ	<i>Ceratina satoi</i> Yasumatsu	○	○		
	キオビツヤハナバチ	<i>Ceratina flavipes</i> Smith	○	○	○	○
	ヤマトツヤハナバチ	<i>Ceratina japonica</i> Cockerell	○	○	○	○
	エサキキマダラハナバチ	<i>Nomada amurensis</i> Radoszkowski			○	○
	アスワキマダラハナバチ	<i>Nomada aswensis</i> Tsuneki			○	
	ウシヅノキマダラハナバチ	<i>Nomada comparata</i> Cockerell			○	○
	ヒメキマダラハナバチ	<i>Nomada flavoguttata</i> (Kirby)	○	○	○	
	エゾキマダラハナバチ*	<i>Nomada fulvicornis ezoensis</i> Matsumura			○	
	ギンランキマダラハナバチ	<i>Nomada ginran</i> Tsuneki	○	○	○	○
	ヒゲナガキマダラハナバチ	<i>Nomada hakonensis</i> Cockerell	○	○	○	○
	ハリマキマダラハナバチ	<i>Nomada harimensis</i> Cockerell	○	○	○	○
	イッシキキマダラハナバチ*	<i>Nomada issikii</i> Yasumatsu				○
	ダイミョウキマダラハナバチ	<i>Nomada japonica</i> Smith	○		○	○
	クロキマダラハナバチ	<i>Nomada leucophthalma</i> (Kirby)			○	
	カオモンキマダラハナバチ	<i>Nomada maculifrons</i> Smith	○	○		
	ミヤマキマダラハナバチ	<i>Nomada montverna</i> Tsuneki				○
	ニッポンキマダラハナバチ	<i>Nomada nipponica</i> Yasumatsu et Hirashima			○	
	コキマダラハナバチ	<i>Nomada okubira</i> Tsuneki	○	○	○	○
	ミズホキマダラハナバチ*	<i>Nomada panzeri orientis</i> Tsuneki			○	
	シラキキマダラハナバチ	<i>Nomada shirakii</i> Yasumatsu et Hirashima				○
	タイチョウキマダラハナバチ	<i>Nomada taicho</i> Tsuneki			○	
	トワダキマダラハナバチ*	<i>Nomada towada</i> Tsuneki				○

科名	和名	学名	A 地域	B 地域	C 地域	山岳 地域
(ミツバチ科)	ヤマトムカシハナバチ ヤドリ*	<i>Epeolus japonicus</i> Bischoff		○		
	シロモンムカシハナバ チヤドリ	<i>Epeolus melectiformis</i> Yasumatsu				○
	シロスジヤドリハナバ チ	<i>Doeringiella ventralis</i> (Meade Waldo)			○	
	シロスジヒゲナガハナ バチ	<i>Eucera spurcatipes</i> Perez	○	○	○	
	ニッポンヒゲナガハナ バチ	<i>Eucera nipponensis</i> (Perez)	○	○	○	○
	ミツクリヒゲナガハナ バチ	<i>Tetraloniella mitsukurii</i> (Cockerell)			○	
	スジボソコシブトハナ バチ	<i>Amegilla florea florea</i> (Smith)			○	
	オオマルハナバチ	<i>Bombus hypocrita hypocrita</i> Perez		○	○	○
	クロマルハナバチ	<i>Bombus ignitus</i> Smith	○	○	○	
	トラマルハナバチ	<i>Bombus diversus diversus</i> Smith	○	○	○	○
	ナガマルハナバチ	<i>Bombus consobrinus</i> <i>wittenburgi</i> Vogt				○
	コマルハナバチ	<i>Bombus ardens ardens</i> Smith	○	○	○	○
	ヒメマルハナバチ	<i>Bombus beaticola beaticola</i> (Tkalcu)				○
	ミヤママルハナバチ	<i>Bombus honshuensis</i> (Tkalcu)			○	○
	ニホンミツバチ	<i>Apis cerana japonica</i> Radoszkowski	○	○	○	○
	セイヨウミツバチ	<i>Apis mellifera</i> Linnaeus	○	○	○	○

## 【参考文献・引用文献】

※目録に引用した文献は、末尾に\*印を付している。

- 福田南海男 1968. 栃木県におけるコンボウハバチ類の分布と生態. *インセクト* 18(2): 3-14. \*1
- 平嶋義宏 (監修) 1989. 日本産昆虫総目録 II (九州大学農学部昆虫学教室・日本野生生物研究センター編) 1088 pp.
- 片山栄助 2004. 黒磯市のハチ目の追加記録 I. ハバチ亜目 (広腰亜目) *インセクト* 55(2): 87-100.
- 片山栄助 2005a. 那須塩原市黒磯地域 (旧黒磯市) のハチ目の追加記録 II. ヒメバチ上科、コバチ上科、カギバラバチ上科、ヤセバチ上科、セイボウ上科及びブズメバチ上科. *インセクト* 56(1): 31-43.
- 片山栄助 2005b. 大田原市の膜翅類 VII. 全体の追加記録と総種類数. *インセクト* 56(2): 177-184.
- 片山栄助 2006. 那須塩原市黒磯地域 (旧黒磯市) のハチ目の追加記録 III. ミツバチ上科アナバチ型ハチ類. *インセクト* 57(2): 133-140.
- 片山栄助 2007. 那須塩原市黒磯地域 (旧黒磯市) のハチ目の追加記録 IV. ミツバチ上科ハナバチ群. *インセクト* 58(1): 37-46.
- 片山栄助 2008. 栃木県産ハチ目の追加記録 (1). *インセクト* 59(1): 131-134.
- 葛谷健 2005. 栃木県鹿沼市上南摩町でトモンハナバチを採る. *インセクト* 56(2): 217.
- 小西和彦 2009. 日本産ヒメバチ目録.  
ホームページ <http://cse.naro.affrc.go.jp/konishi/mokuroku/index.html>
- 松村雄 2008. トモンハナバチの巣場所探索と保全. *昆虫と自然* 43(9): 39-43.
- 松浦誠 1995. 図説社会性カリバチの生態と進化. 北海道大学図書刊行会, 札幌, 353 pp.
- 宮本龍夫 2005. チャイロスズメバチの記録. *インセクト* 56(2): 218.
- 村上哲治 2004. 栃木県内における膜翅目の記録 (1). *インセクト* 55(2): 103-112.
- 中村和夫 1991. 日光国立公園 (塩原地区) の昆虫類—膜翅目, 双翅目, 水生昆虫類—自然公園内環境調査. 国立公園協会, 375 pp. \*3
- 中村和夫 2003. ハチ目 Hymenoptera (アリ科を除く) とちぎの昆虫 I. (栃木県自然環境基礎調査) 栃木県, pp. 249-336. \*2
- 中村和夫 2008. 二つの湿地で希少ハチ種の記録. *インセクト* 59(2): 166.
- 大沢守一 1970. 栃木県産アリ類目録. *インセクト* 21(1): 1-11. \*5
- 清水晃 2008. クモバチ (ベッコウバチ) 科 Pompilidae. 新訂原色昆虫大図鑑 III, 北隆館, 東京. pp. 563-573.
- Shimizu, Akira & Wahis, Raymond 2007. Systematic studies on the Pompilidae occurring in Japan: genus *Irenangelus* Schulz (Hymenoptera: Pompilidae: Ceropalinae). *J. Hym. Res.*, 16(2): 311-325.
- 園部力男 2003. アリ科 Formicidae. とちぎの昆虫 I. (栃木県自然環境基礎調査) 栃木県, pp. 337-345. \*4
- 鈴木洋一 1982. 栃木県産アナバチ科目録 (分布資料 1). *インセクト* 33(1): 21-29. \*6
- 寺山守 2004. 日本産有剣膜翅類目録. 日本蟻類研究会紀要 (2): 1-123.
- 薄葉重 1949. 栃木県産昆虫目録. 膜翅目・追加. *インセクト* 2(2): 17-21.
- 薄葉重 1951. 栃木県産の *Osmia* 属. *インセクト* 4(1): 10.
- 山根正気・幾留秀一・寺山 守 1999. 南西諸島産有剣ハチ・アリ類検索図説. 北海道大学図書刊行会, 831 pp.